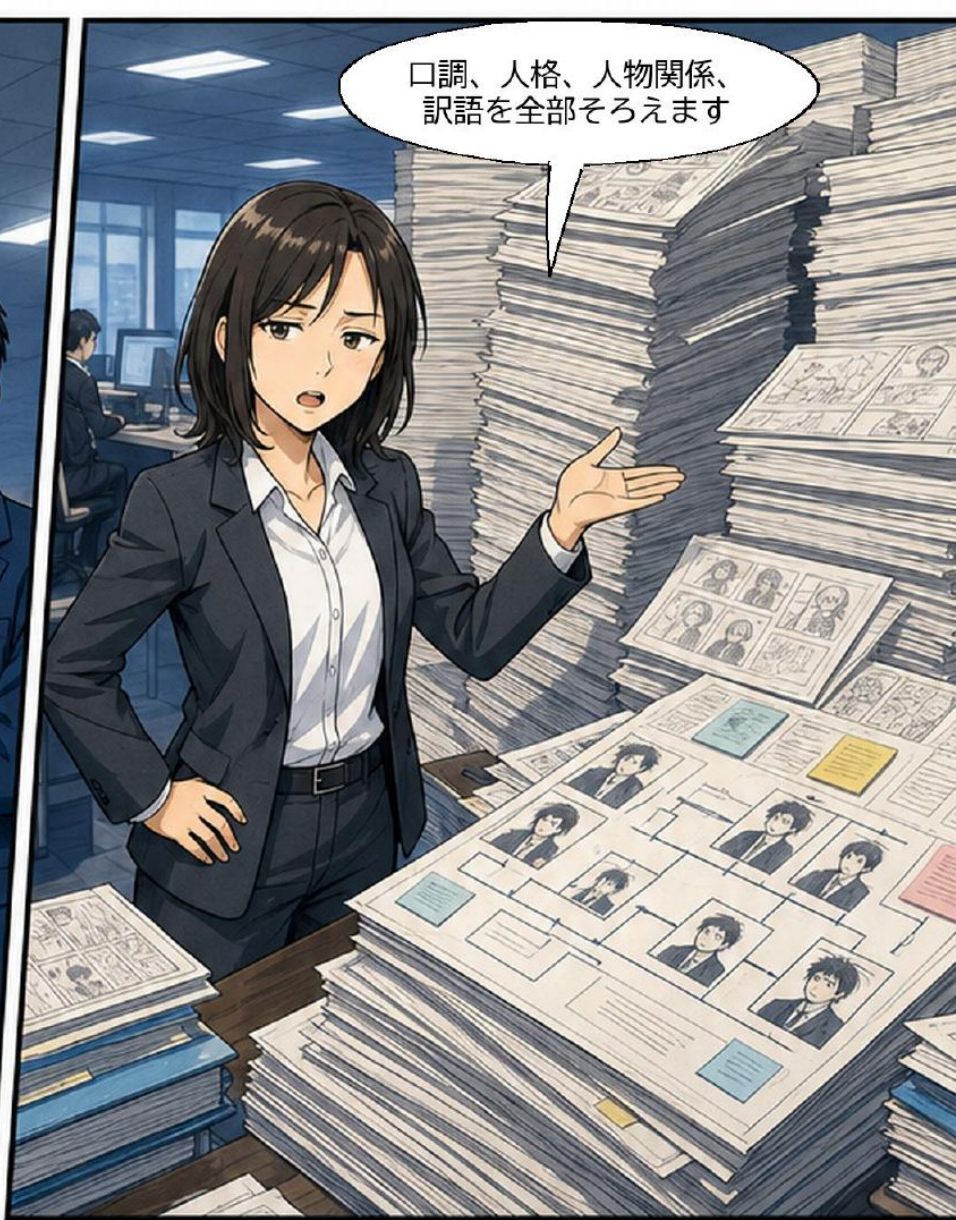
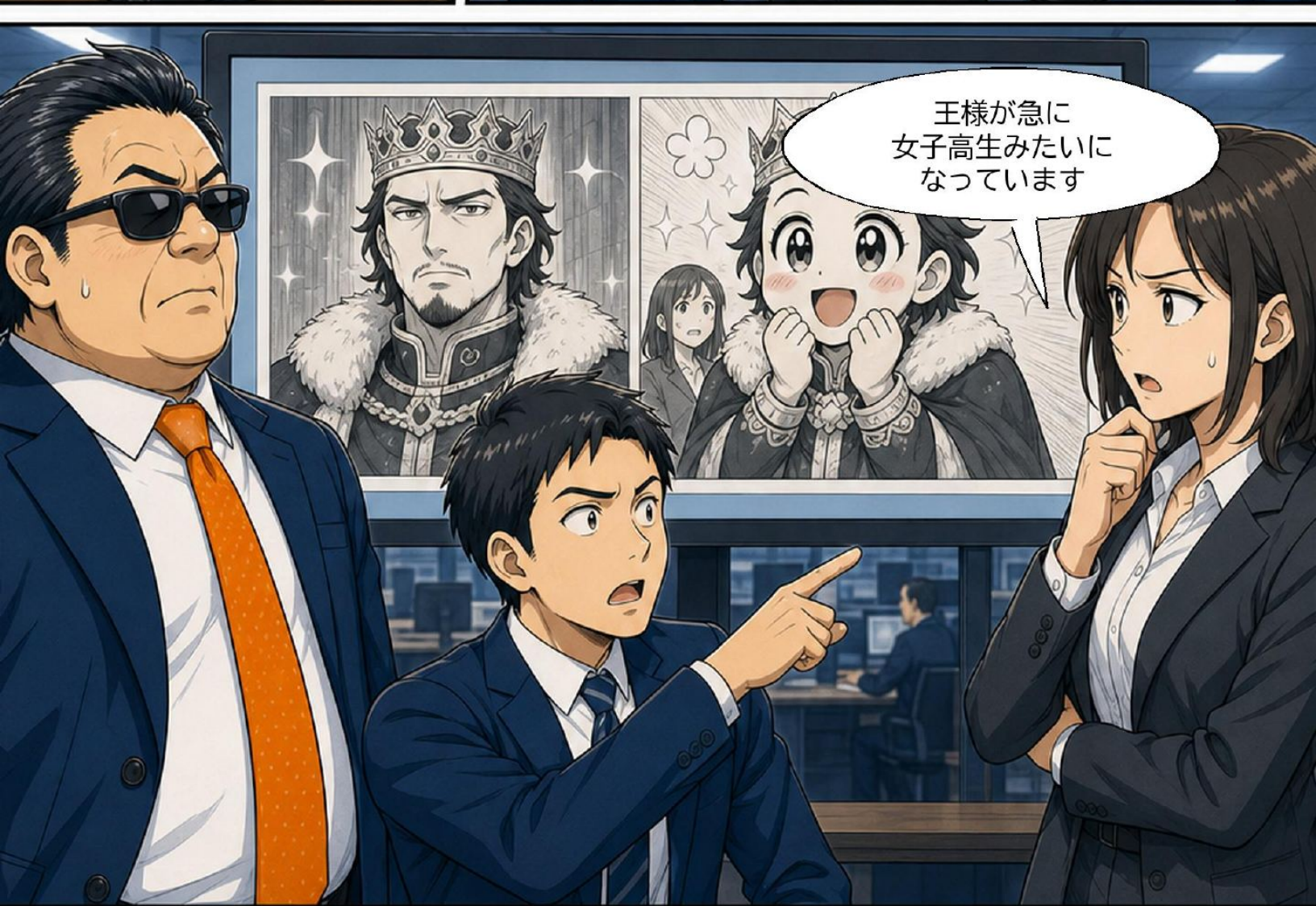
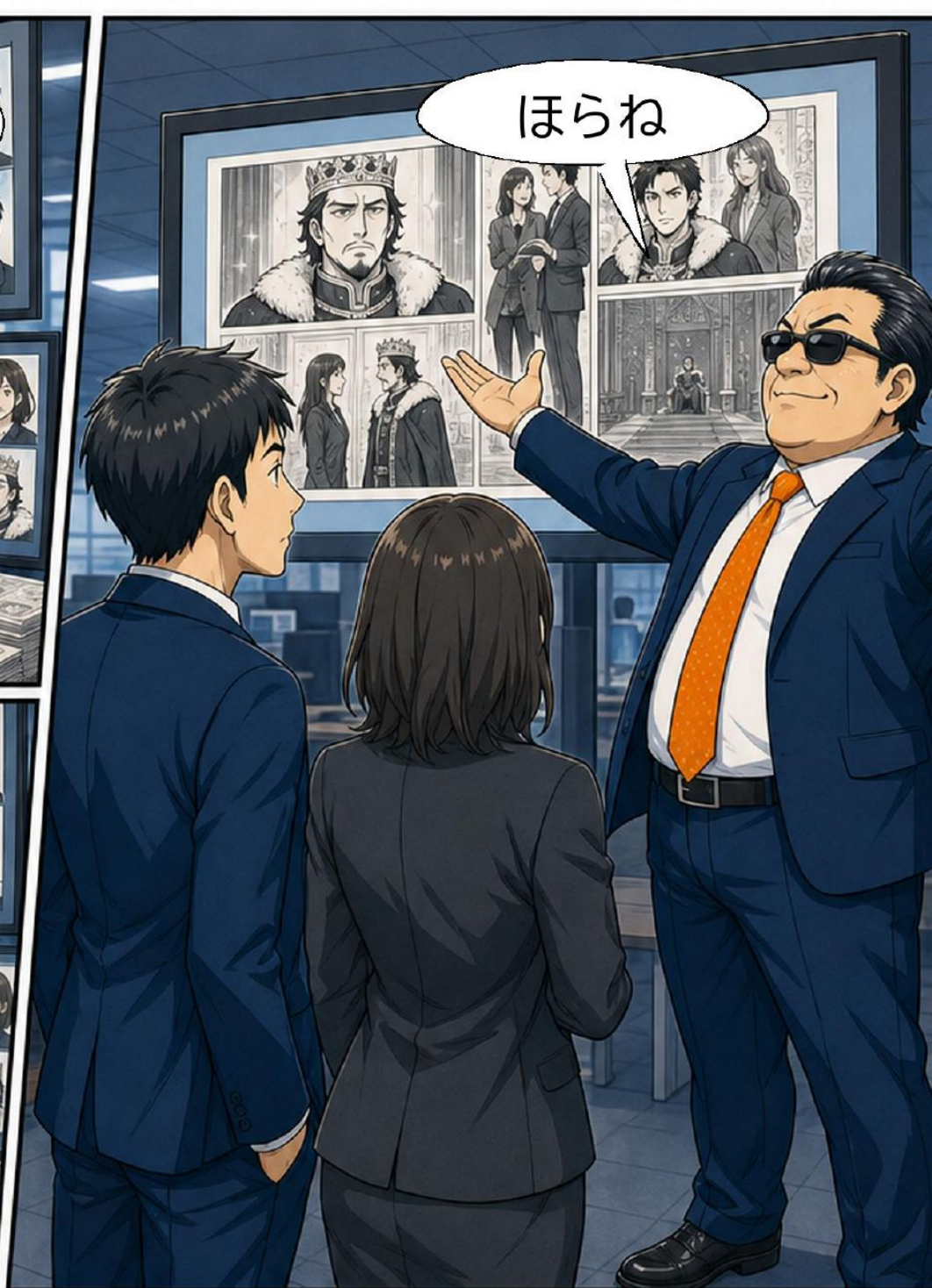
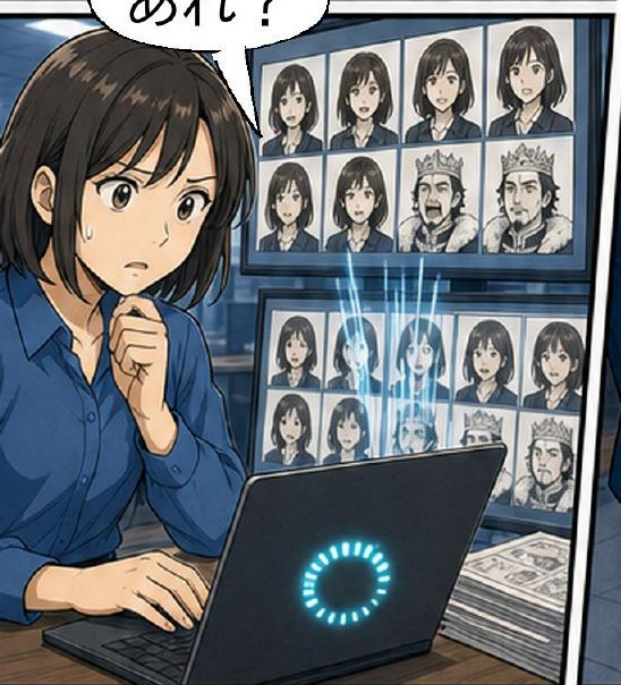
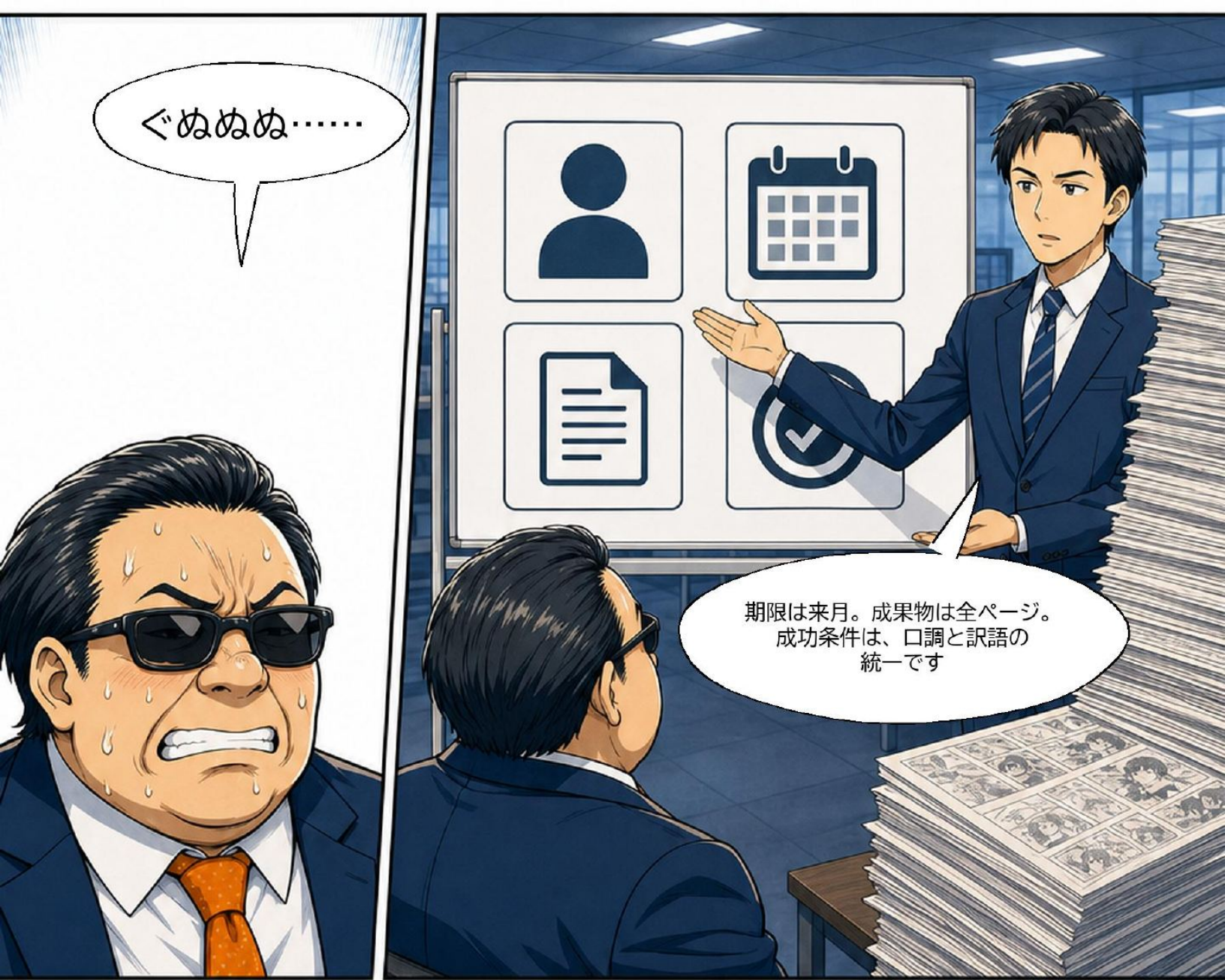






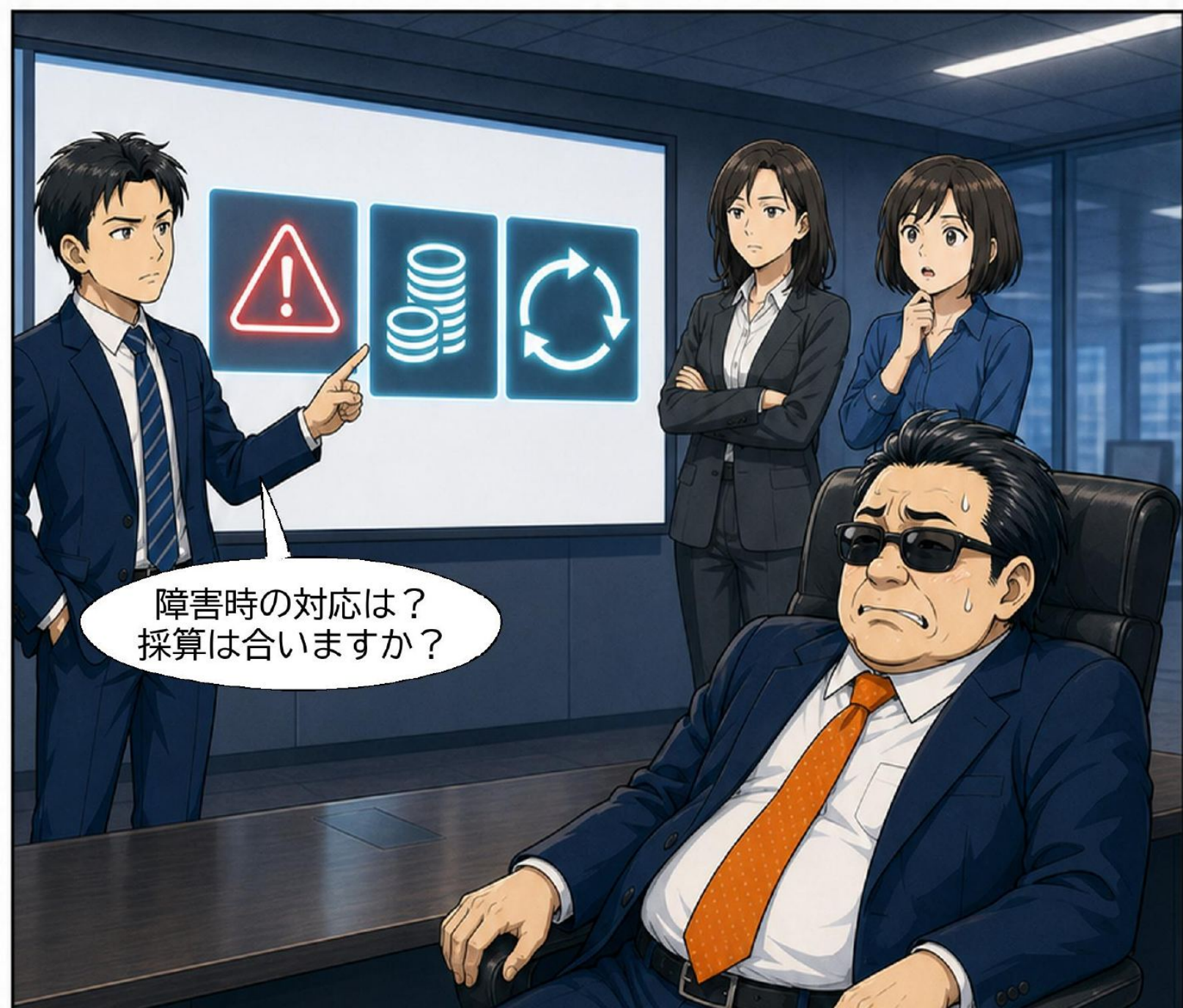




### 第1話の教訓

AI知ったか親父は、  
“一回できた”を“いつでもできる”に  
脳内変換する。

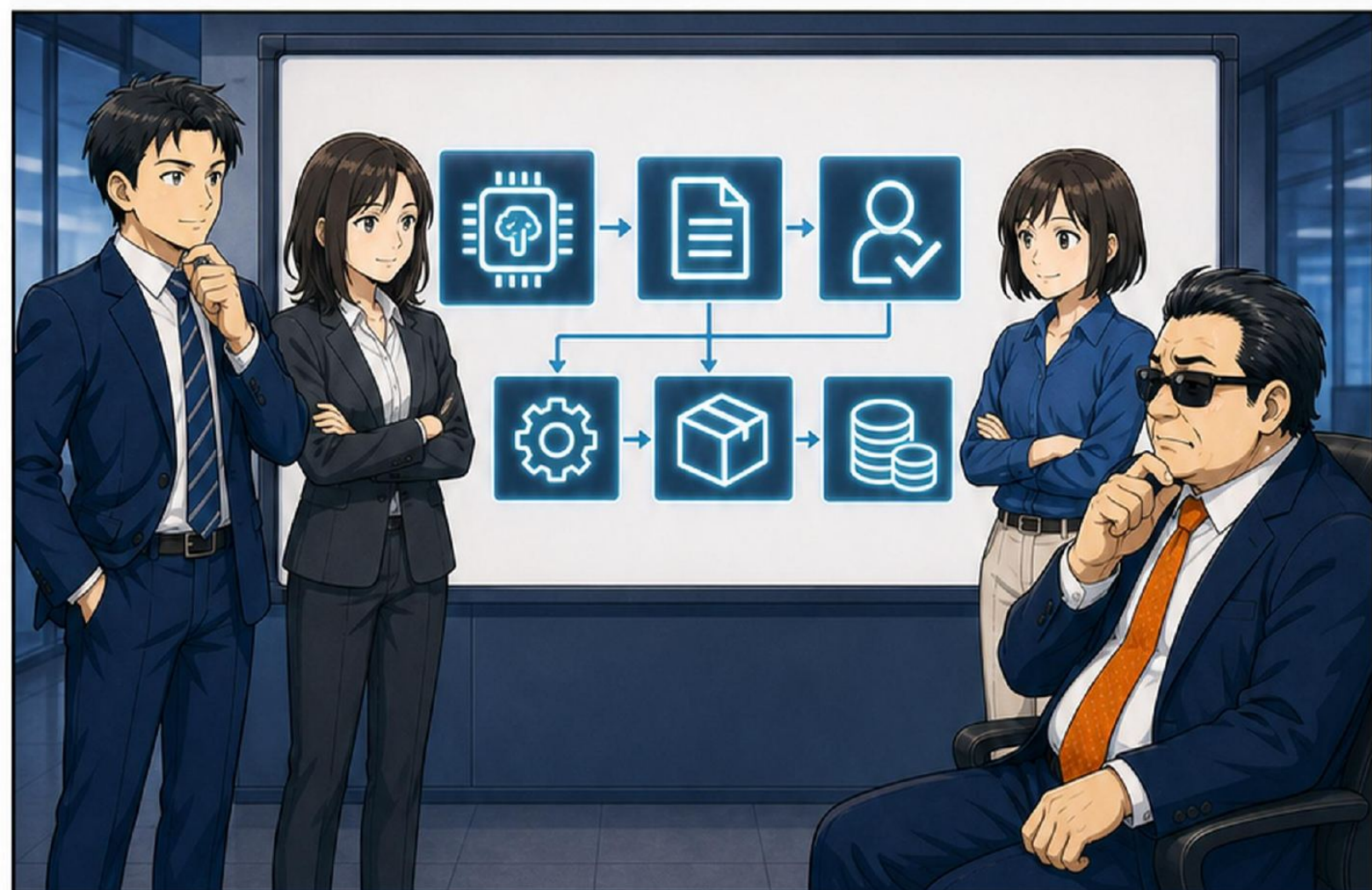
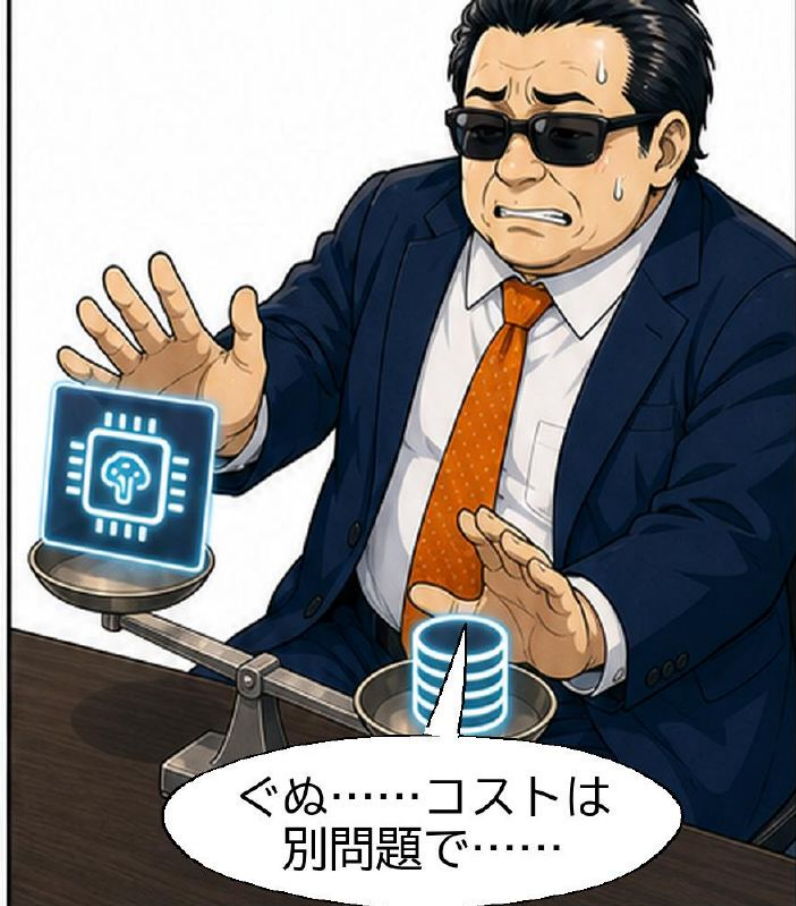
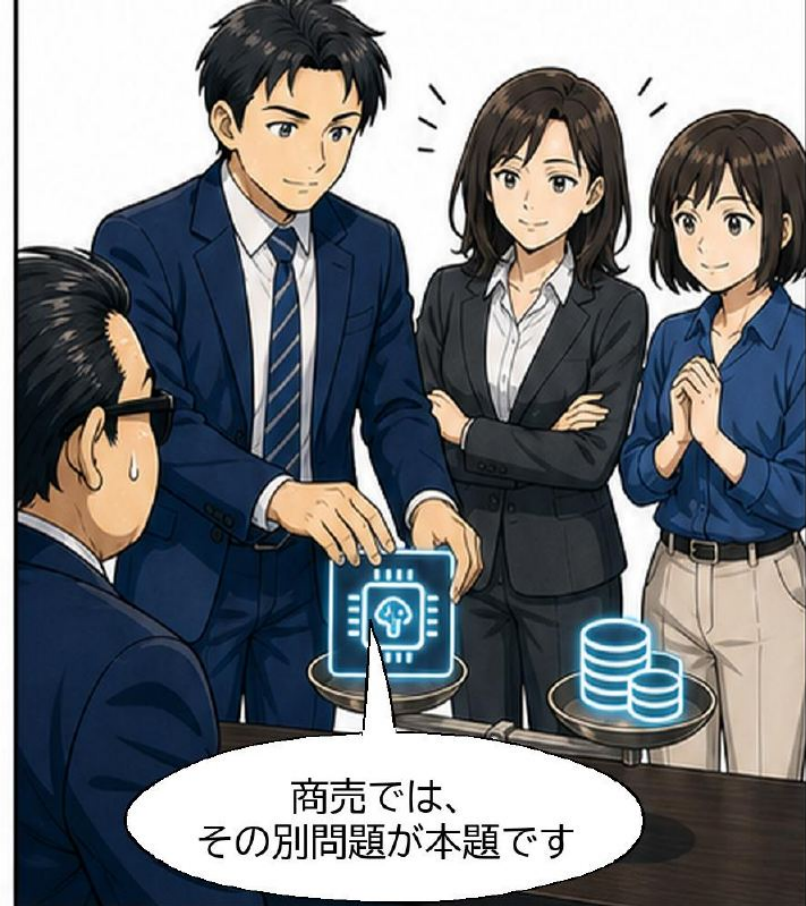




修正は、もう  
3時間目です……

速い！

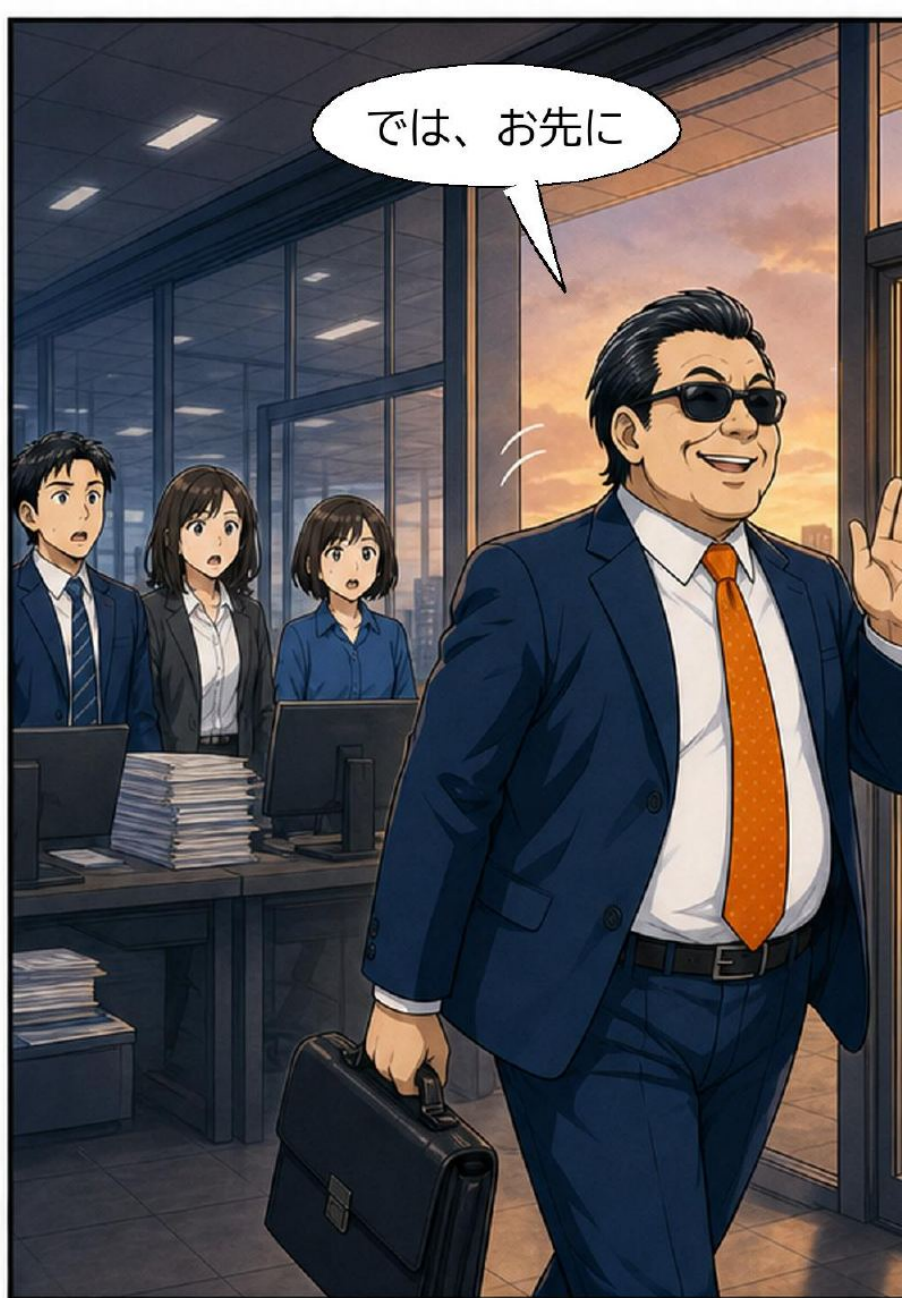
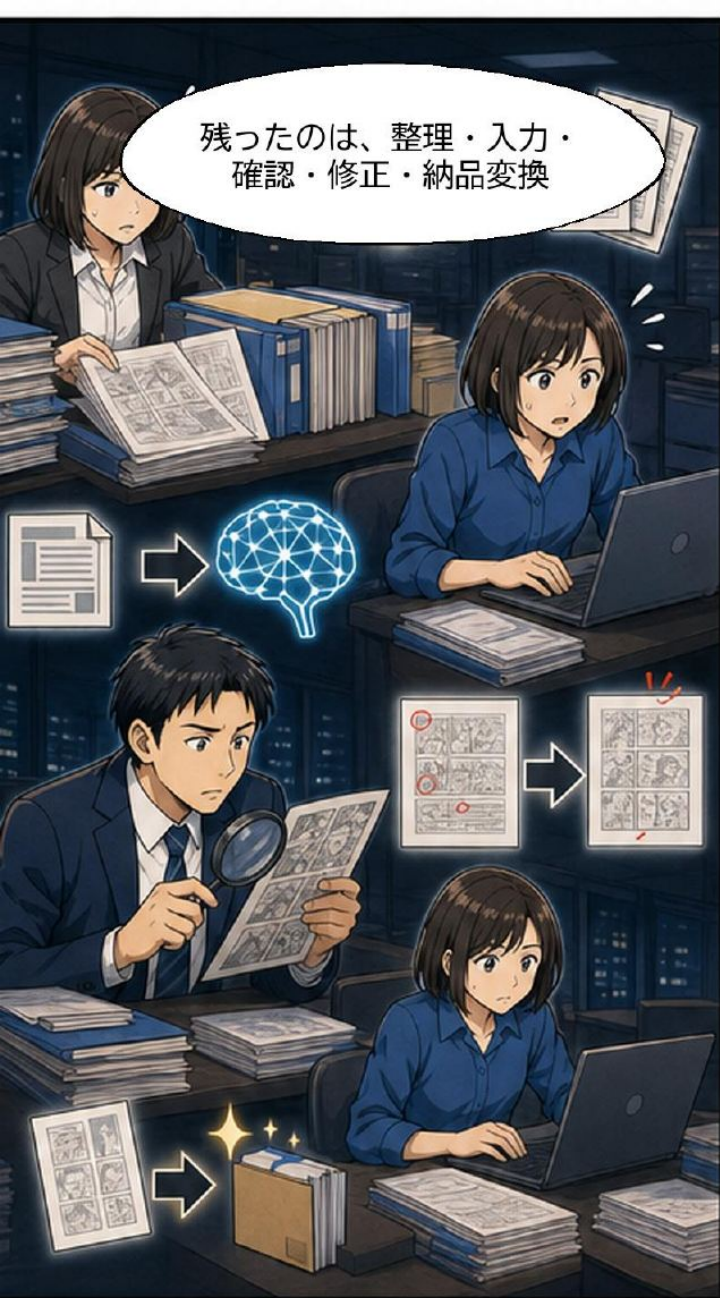
速く作った間違いを、  
ゆっくり直しています

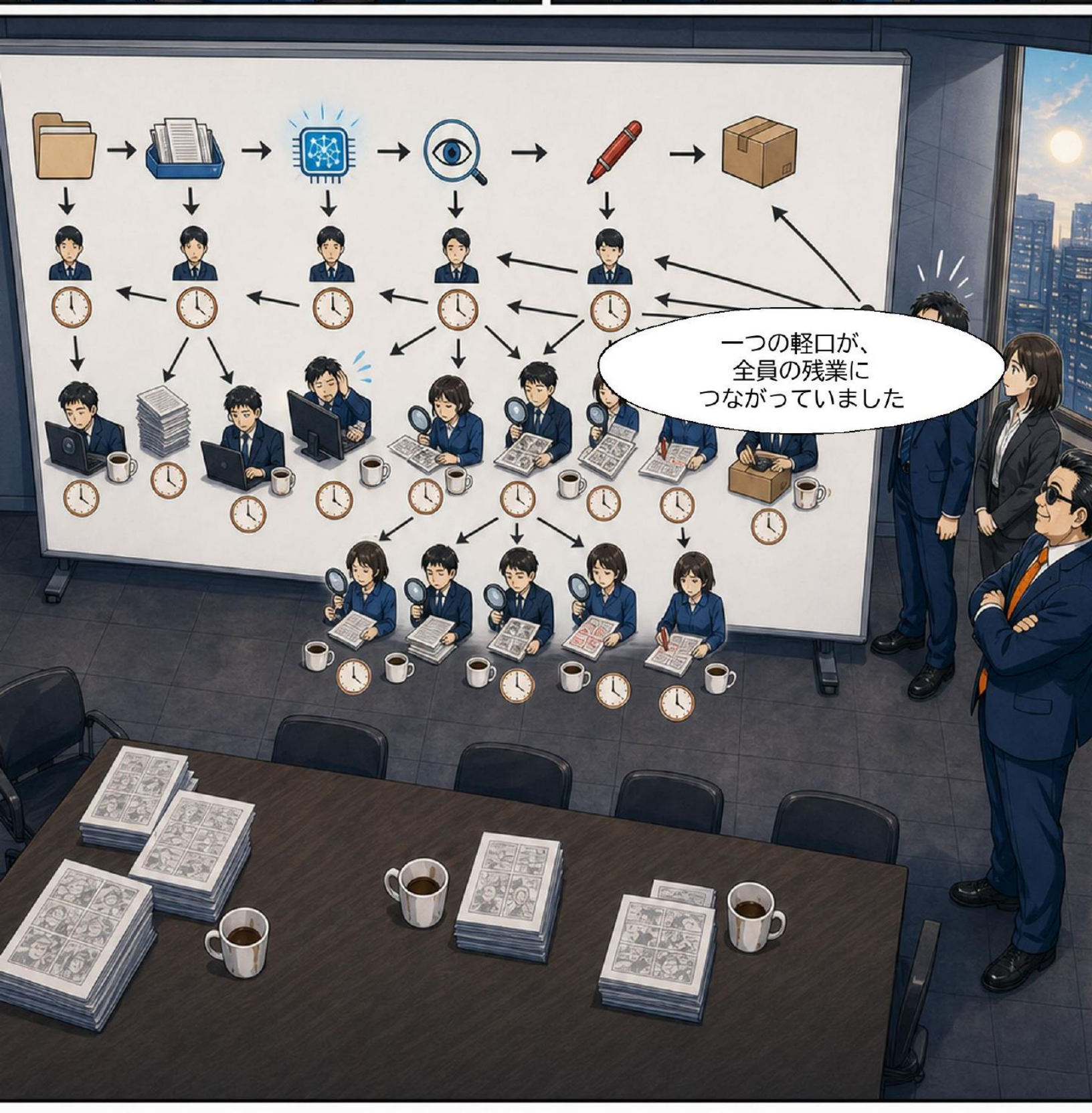
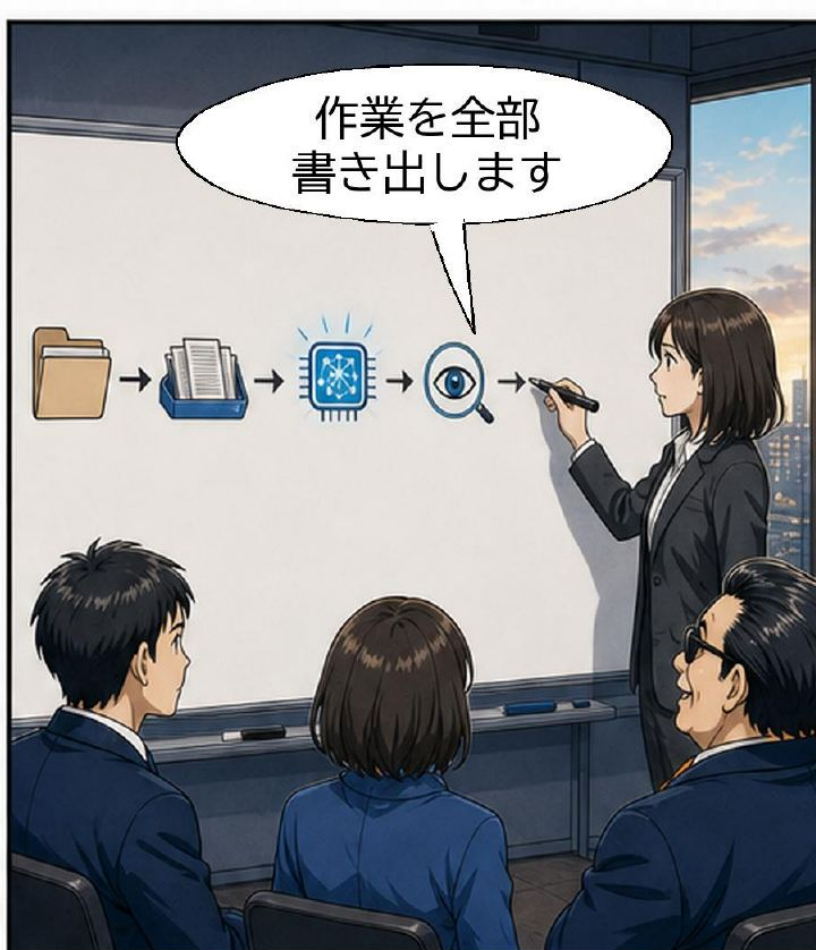
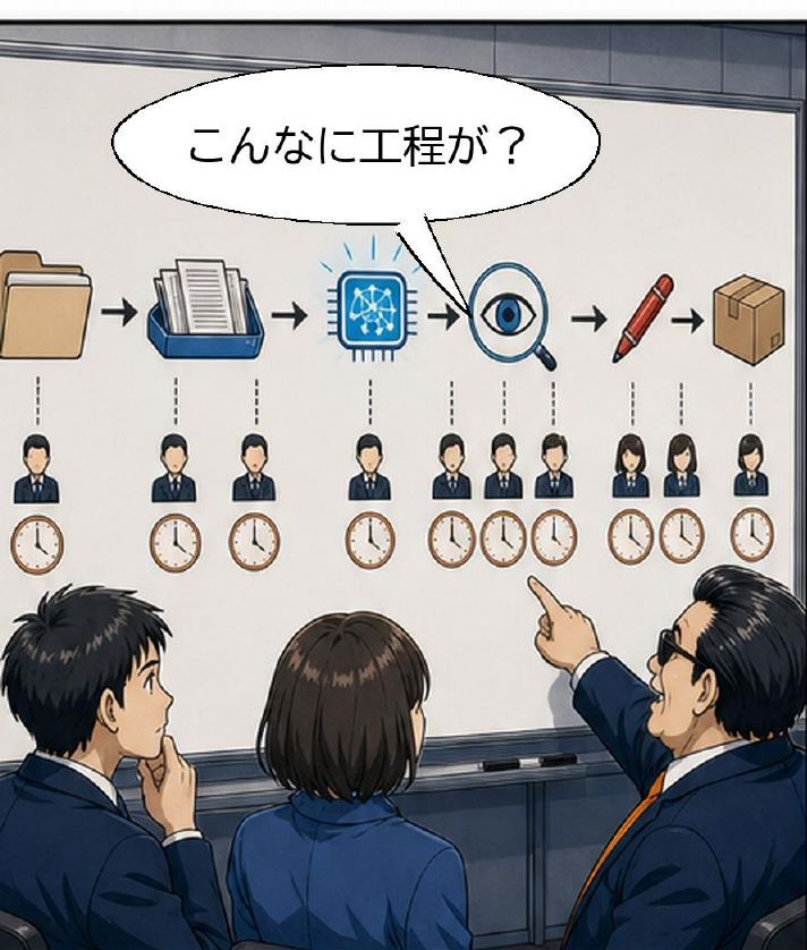


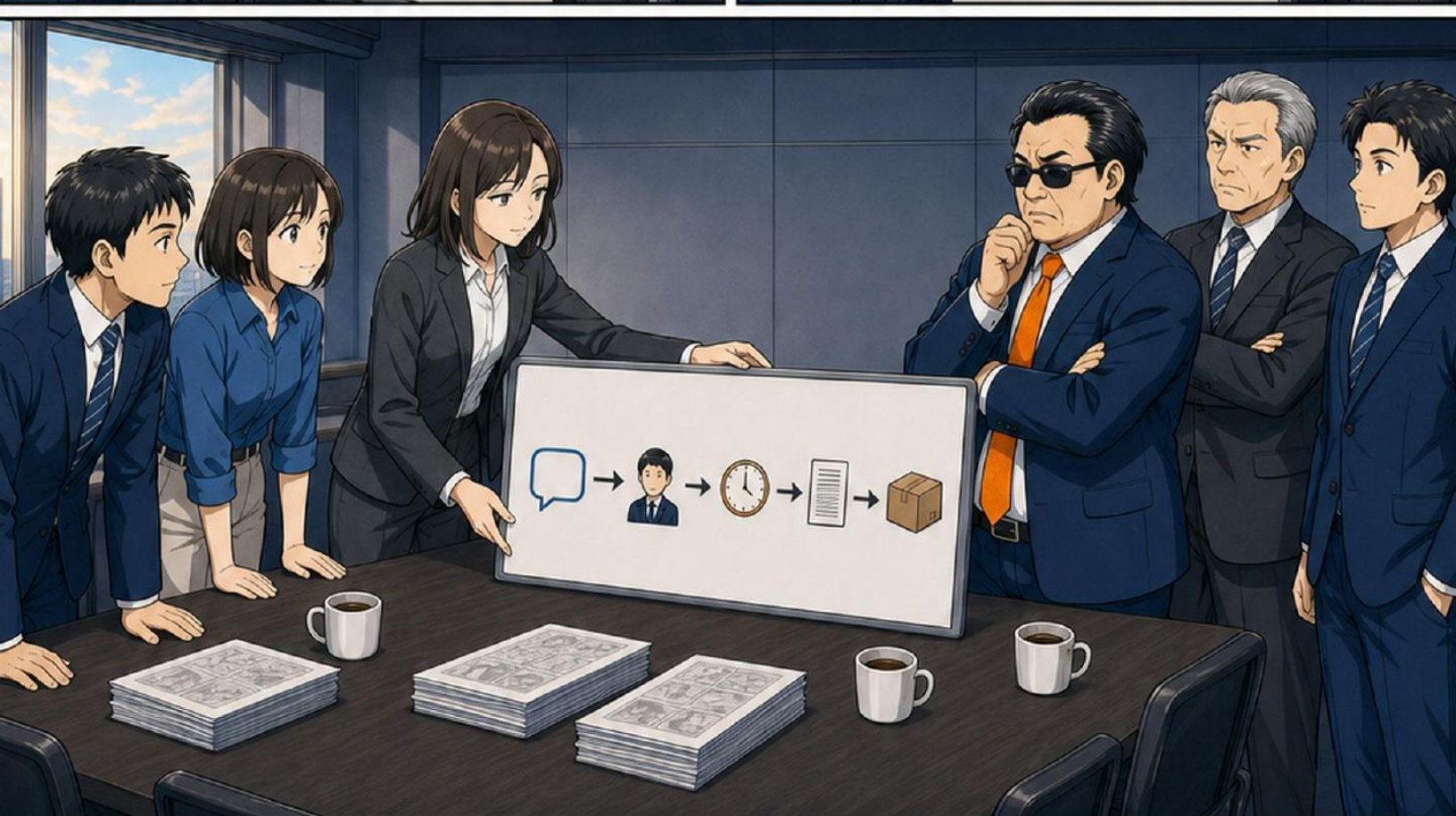
## 第2話の教訓

技術的に可能でも、  
運用と採算が成立しなければ  
使えない。







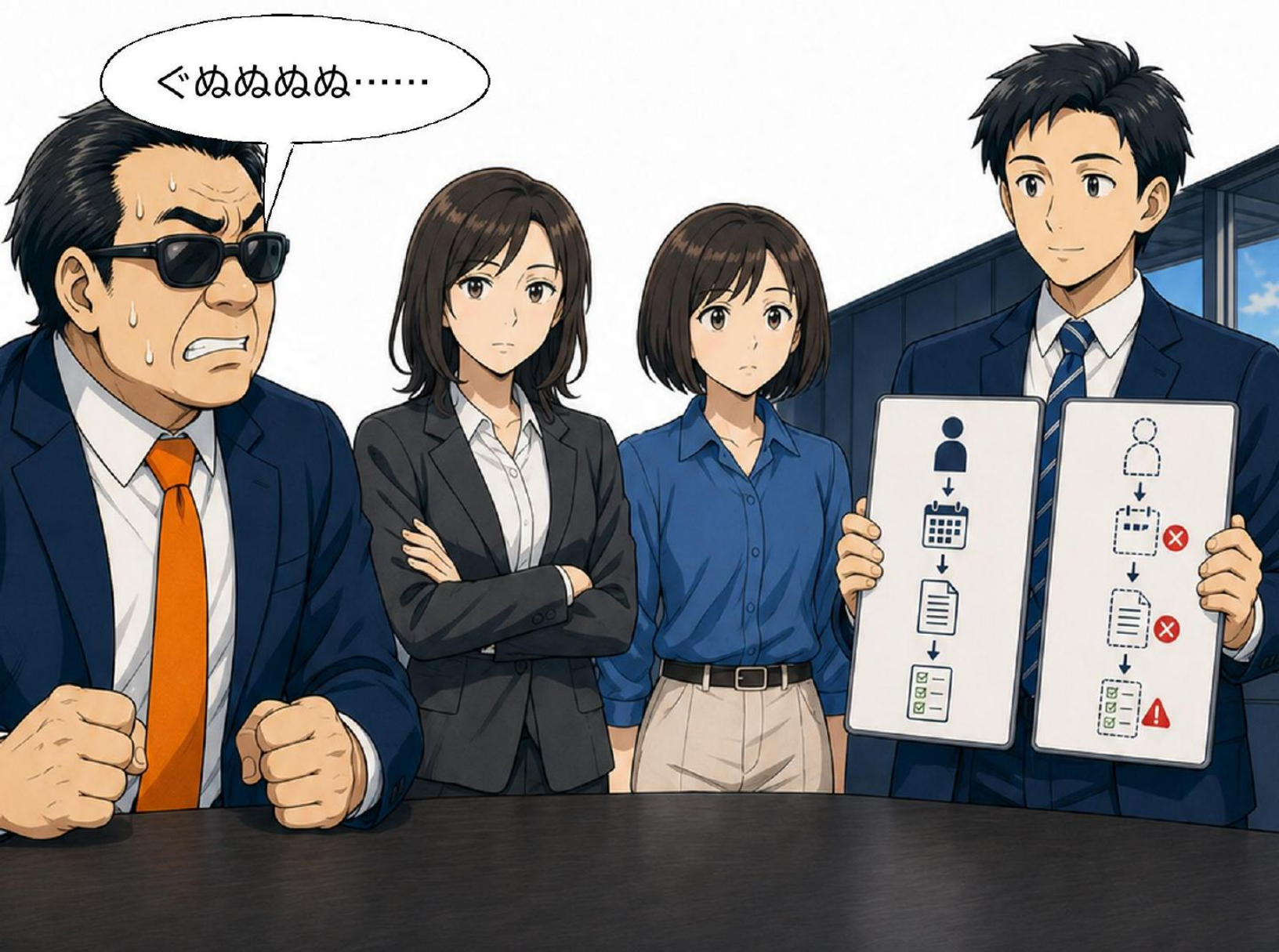
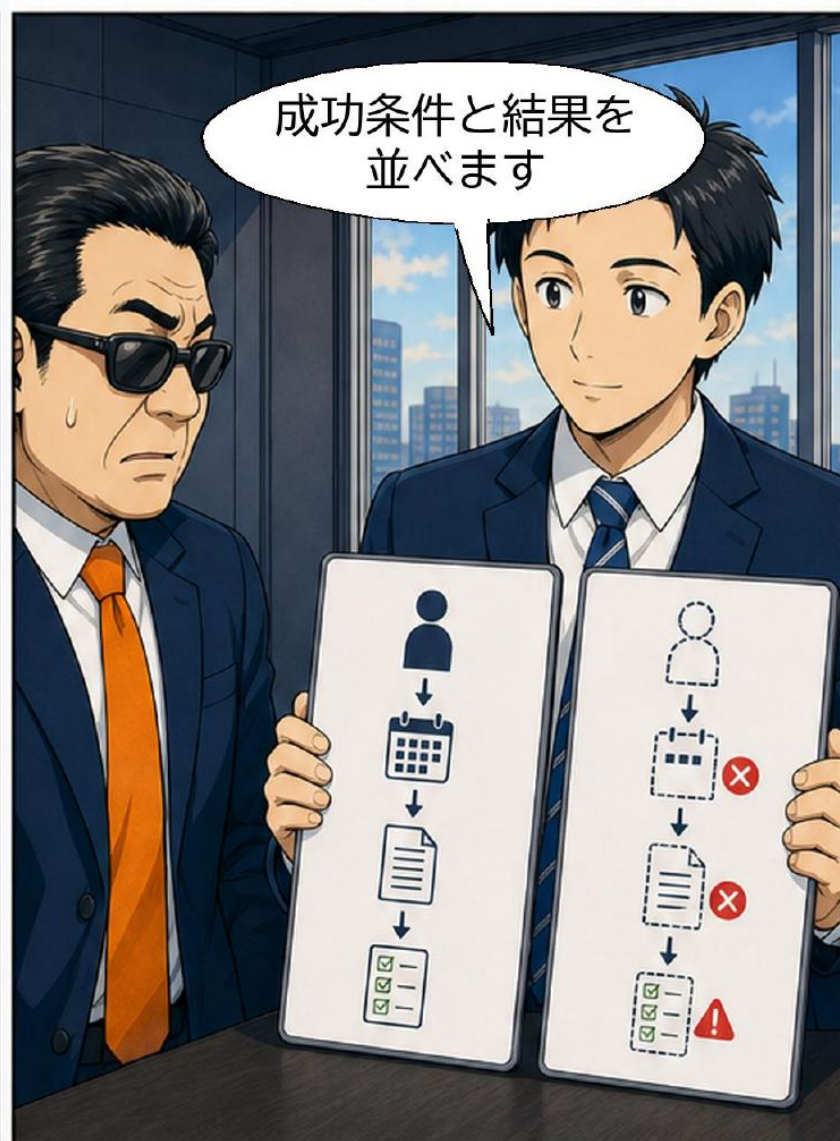
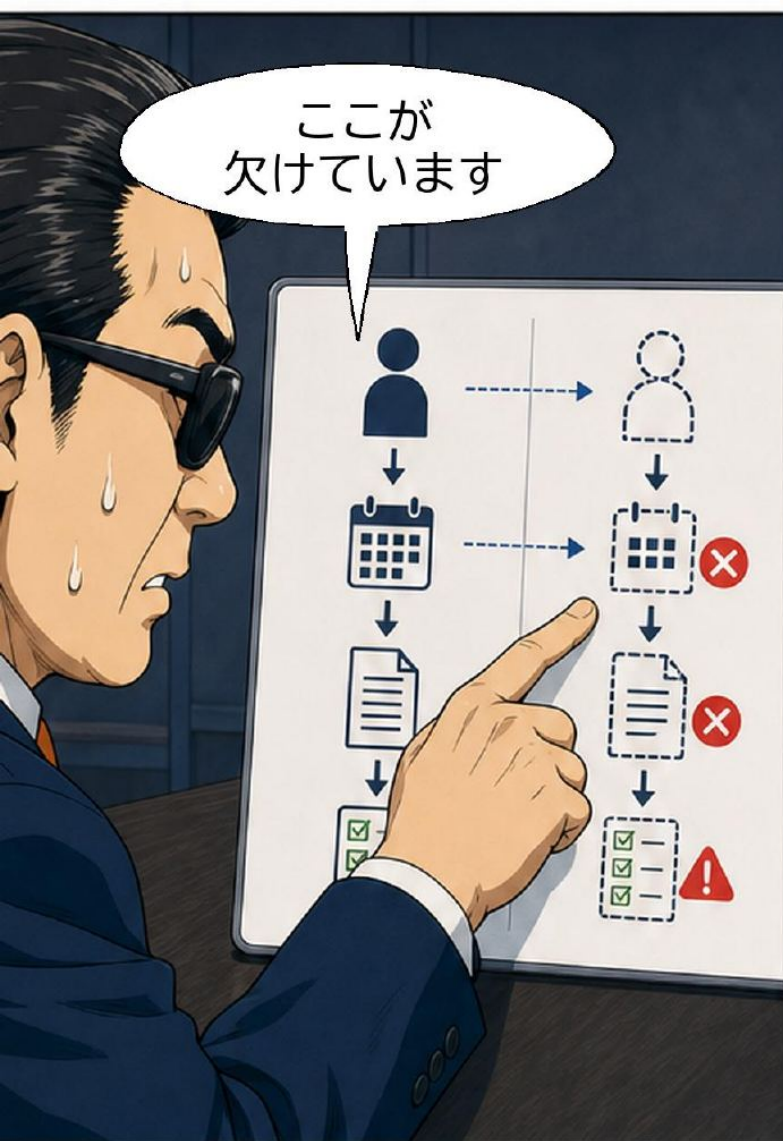


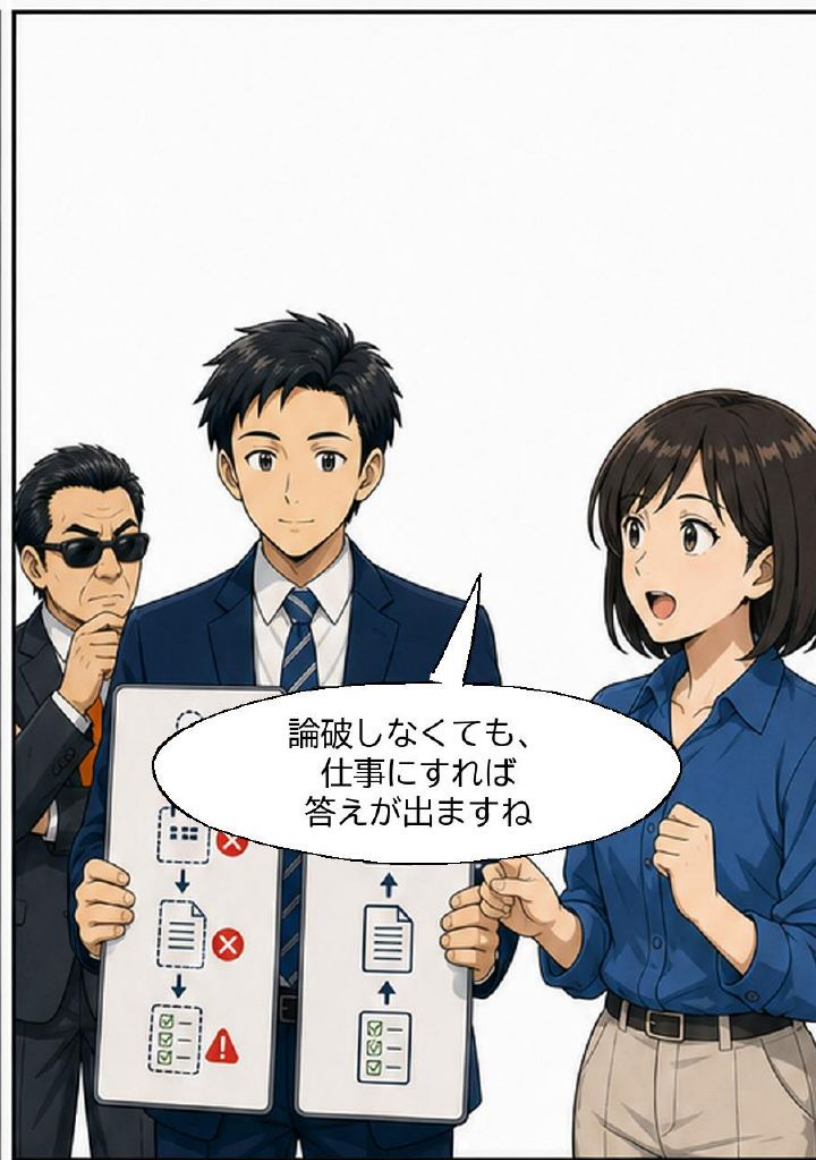
### 第3話の教訓

軽い発言は、  
後工程の誰かに  
コストを発生させる。



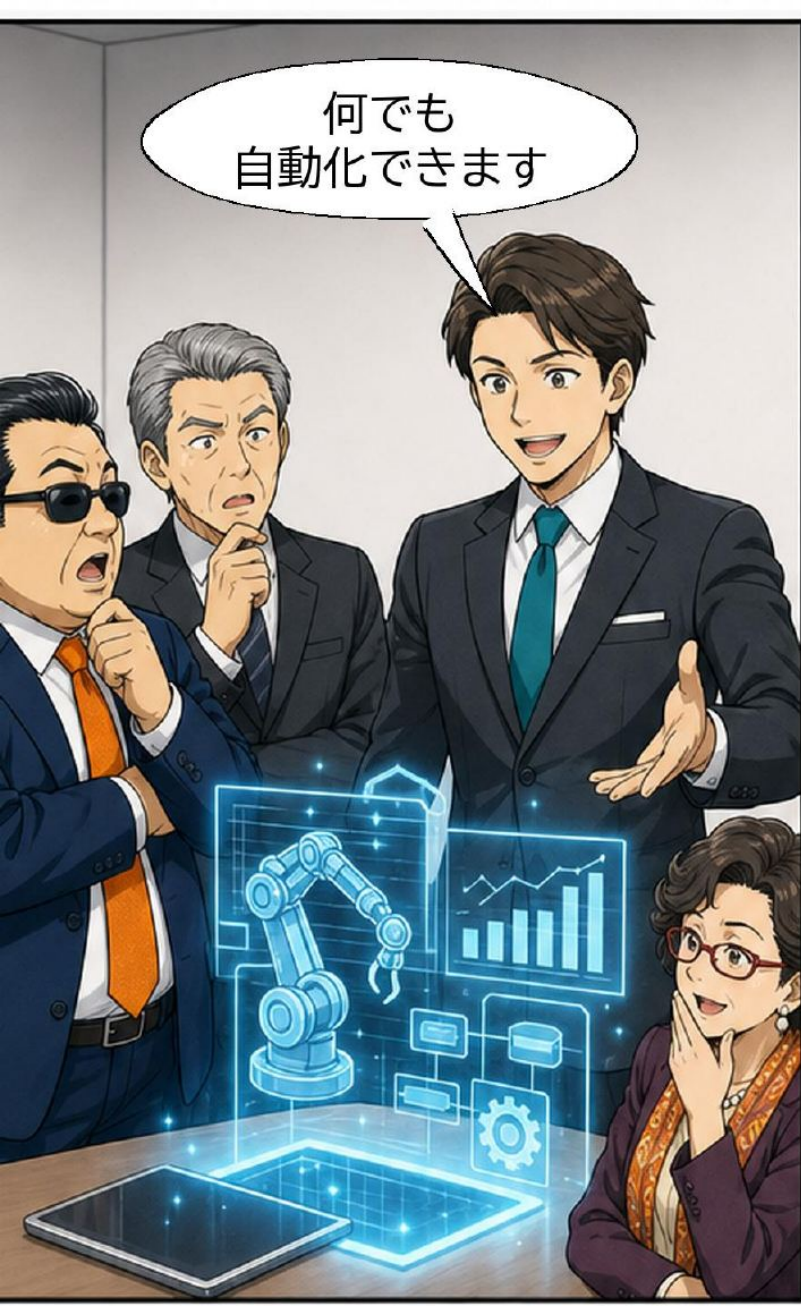


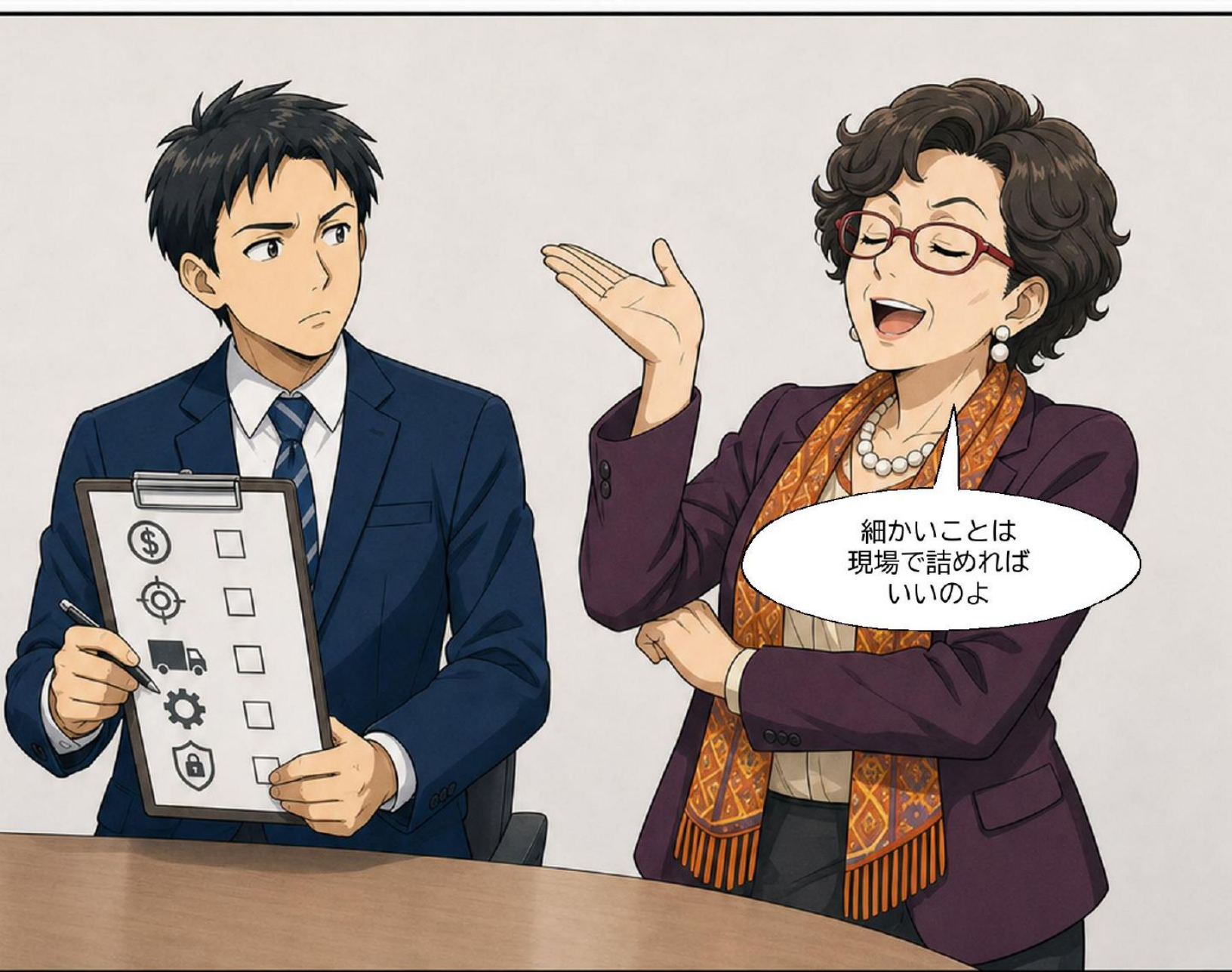




#### 第4話の教訓

軽口は、担当・期限・成果物・  
成功条件へ  
変換する。

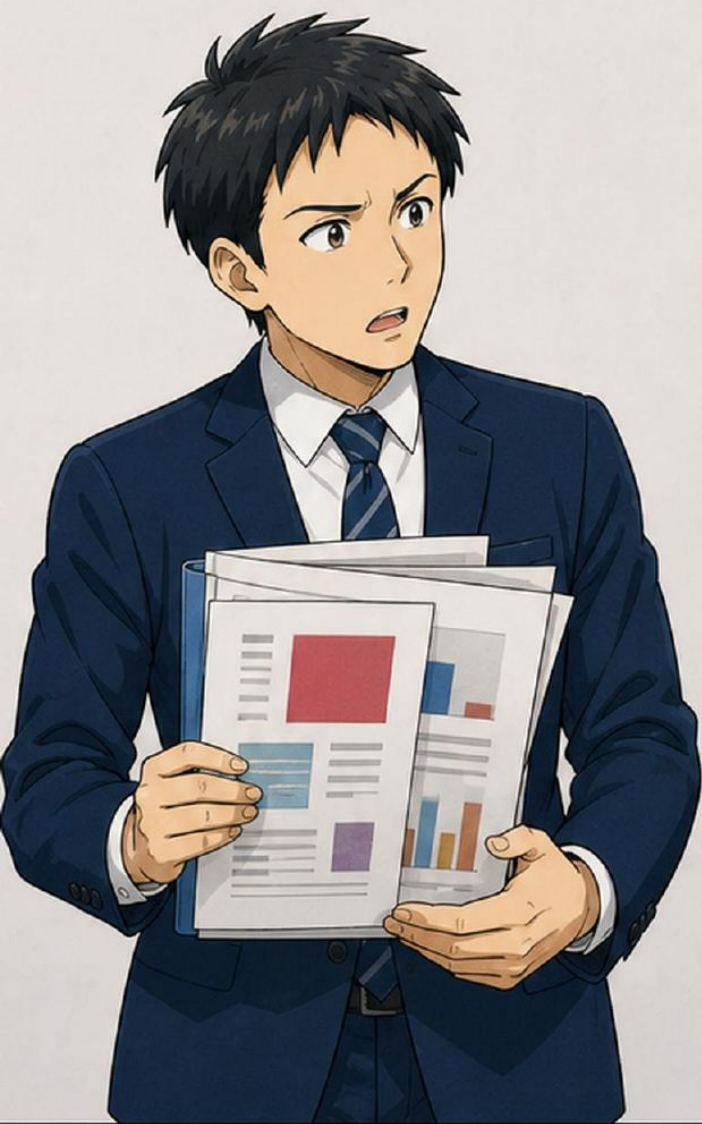
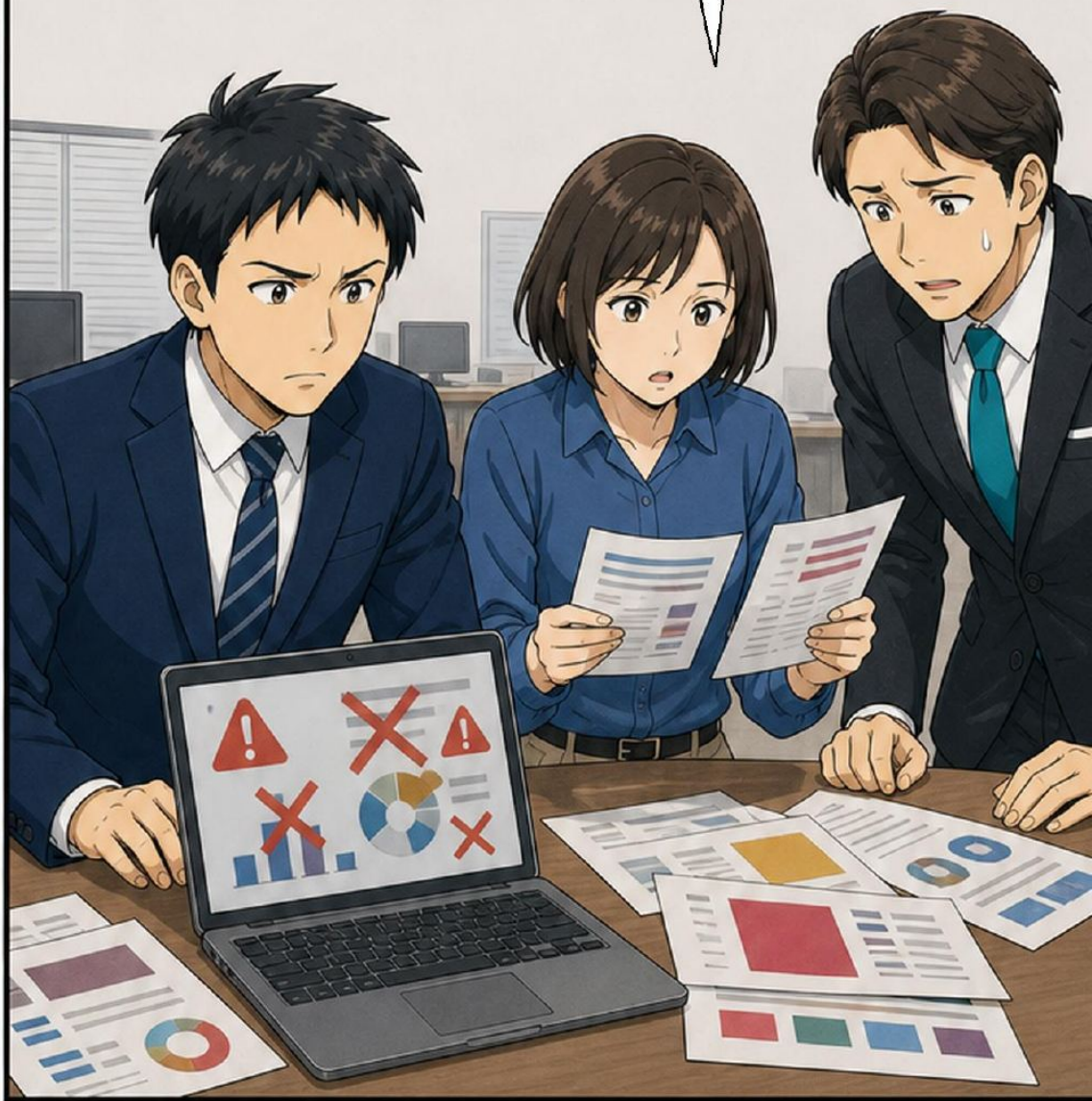




御社のデータが  
特殊でして……



実データで  
試します



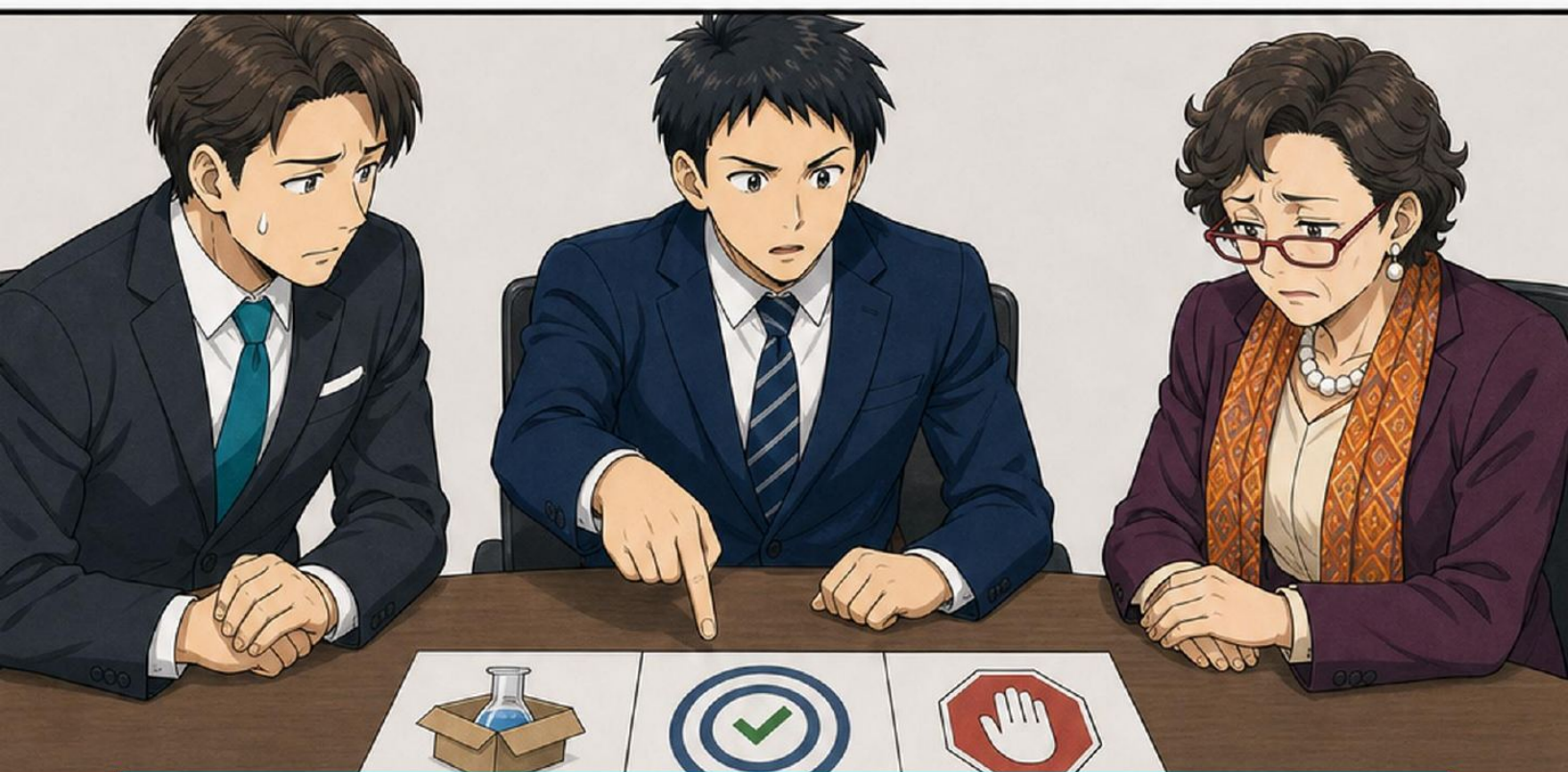
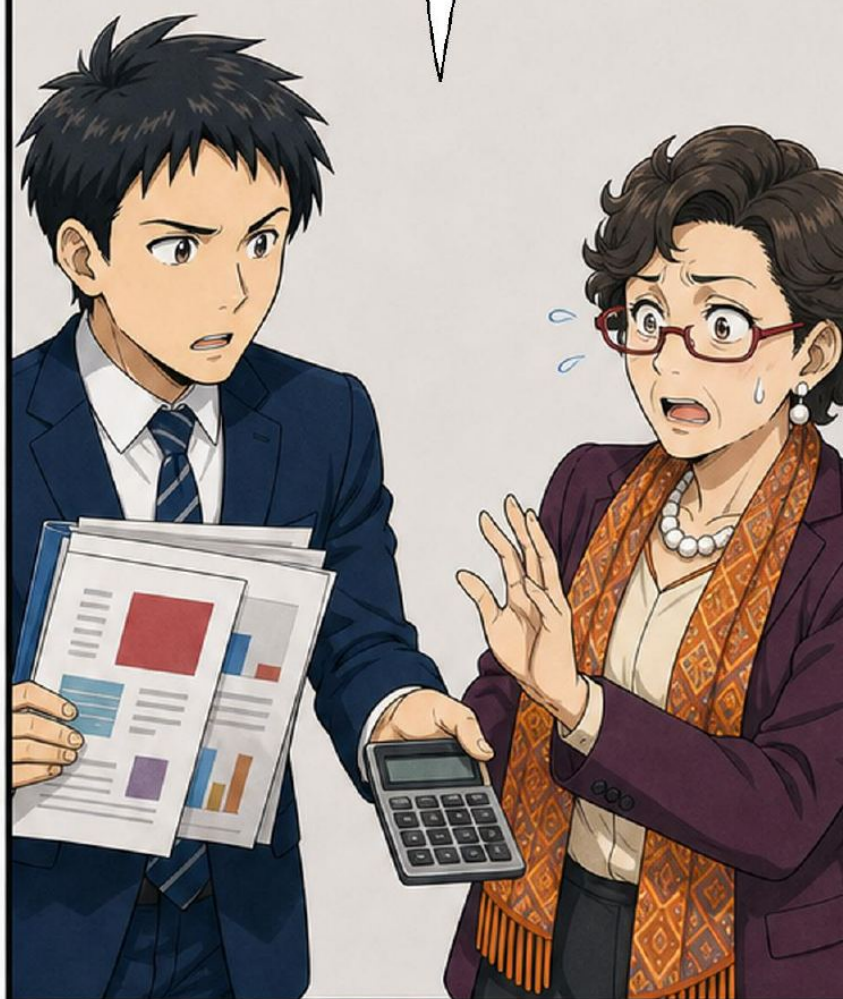
私は紹介した  
だけだから



契約前に、  
小さく試します



その“だけ”の検証費用を  
誰が払いますか？



### 第5話の教訓

紹介するなら、  
検証条件と撤退条件まで  
持ってくる。

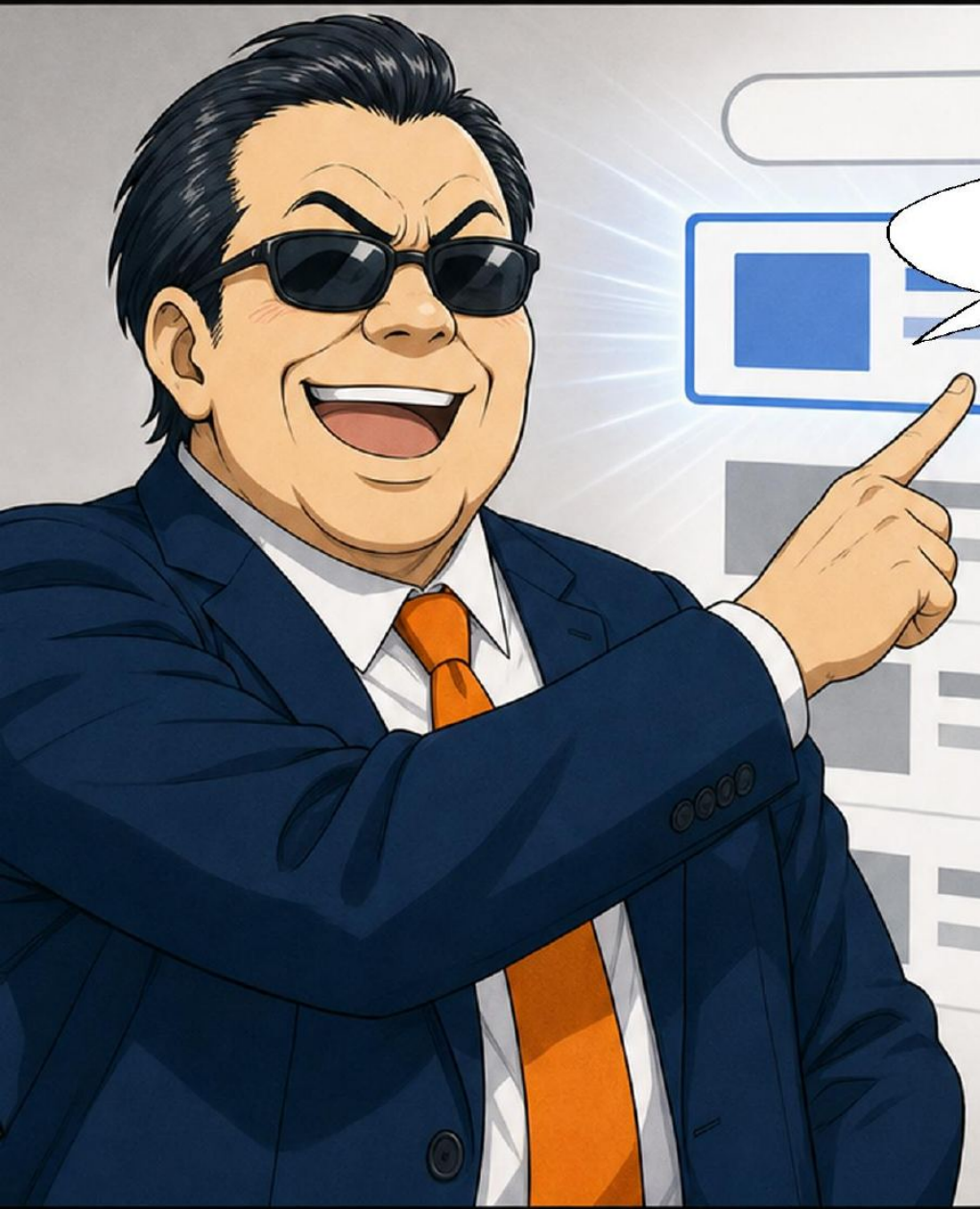
何が普通ですか？



普通は、このAI  
らしいよ



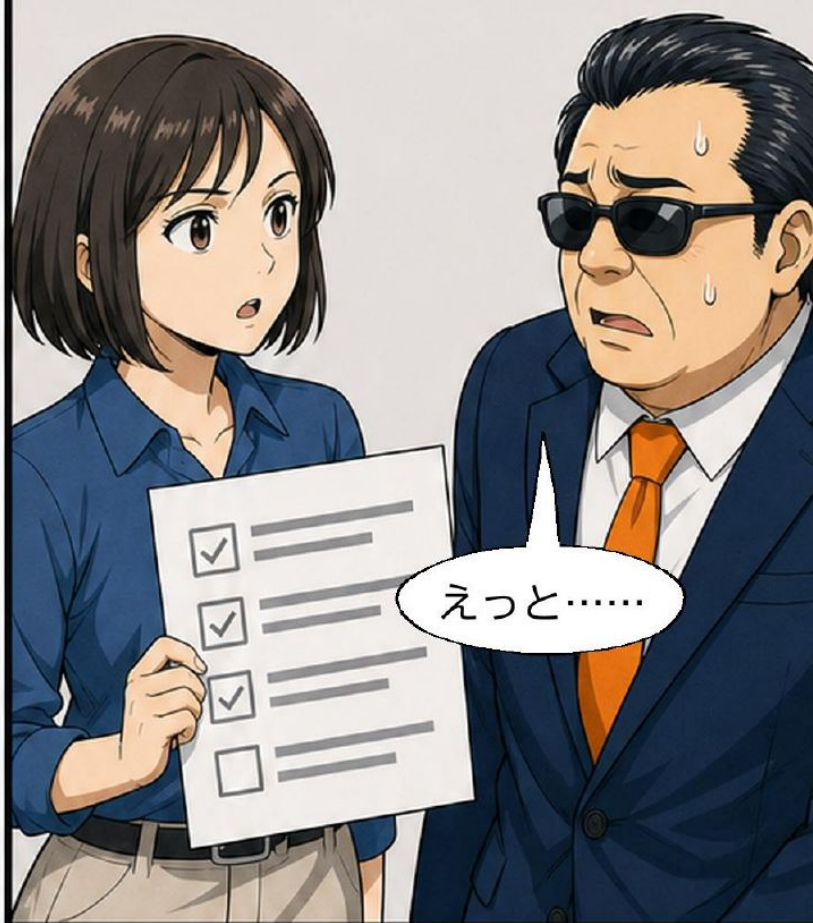
一番上に  
出てきたから



機密性と  
大量処理は？



正確性は？



費用と  
修正しやすさは？



工程ごとに  
道具を選びます



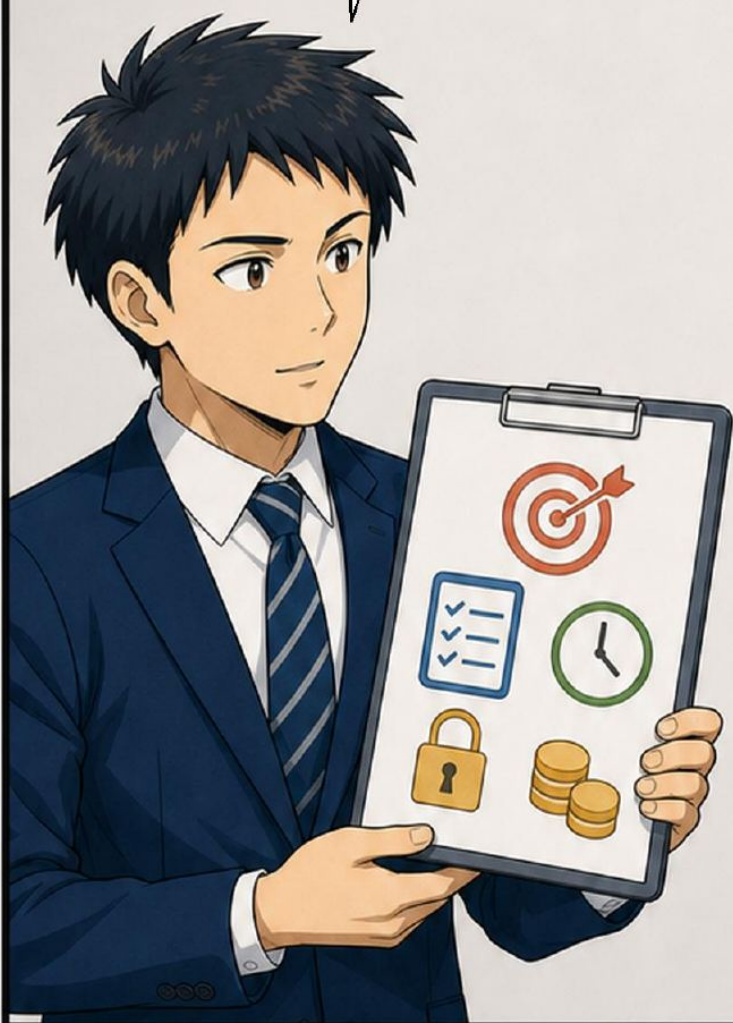
順位表は、いったん  
消します



最強のAIではなく、  
その仕事に合うAI  
ですね



目的を聞く前に、  
一番は決まりません



じゃあ、どれが  
一番なんだ？



### 第6話の教訓

道具を信奉せず、  
仕事の条件で選ぶ。

待ってください！  
それは困ります

この確認工程は無駄だ。  
全部AI化する



変化を嫌う  
人たちだな

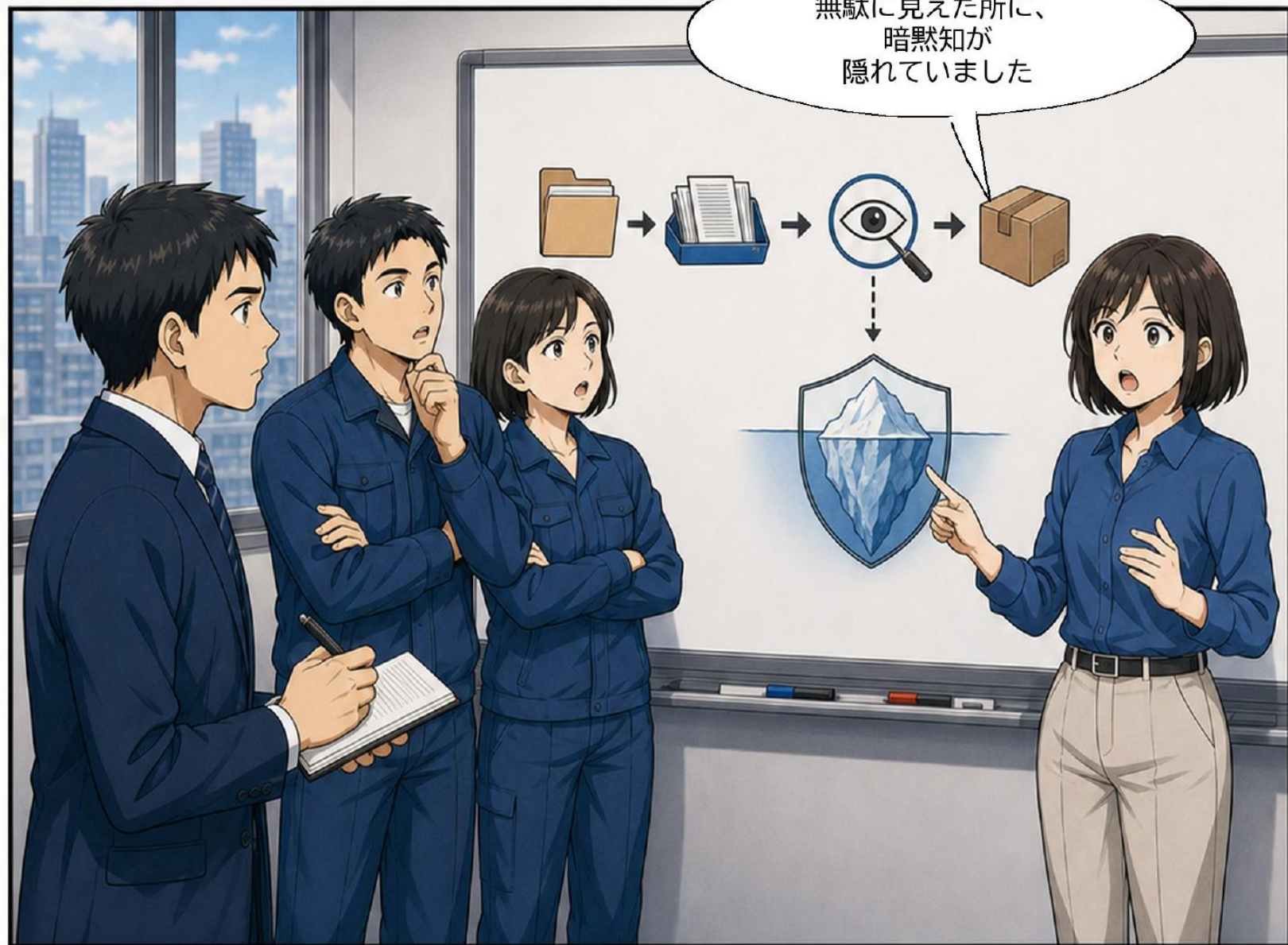
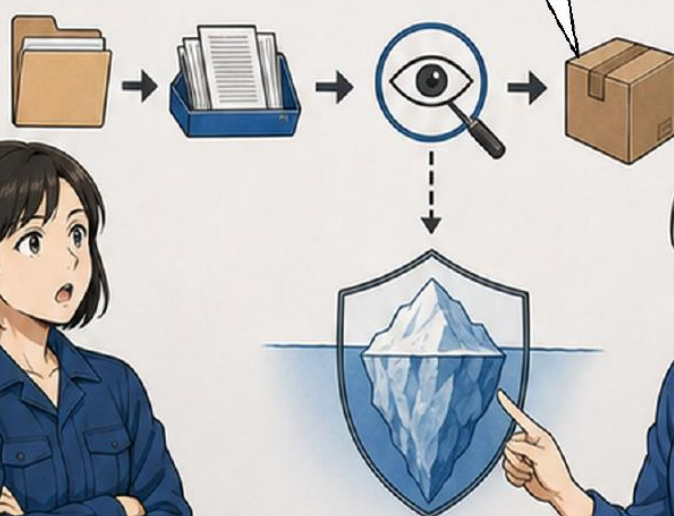
この確認は、三年前の  
事故から増えました



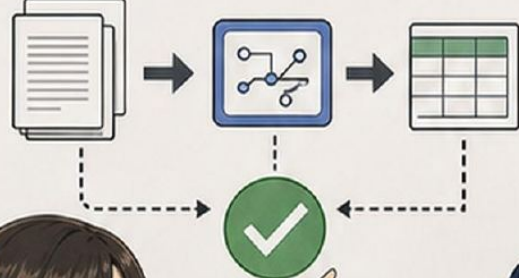
過去のクレーム記録を  
確認しましょう



無駄に見えた所に、  
暗黙知が  
隠れていました



まず、ここを  
自動化します



この転記だけで、  
毎日、残業です

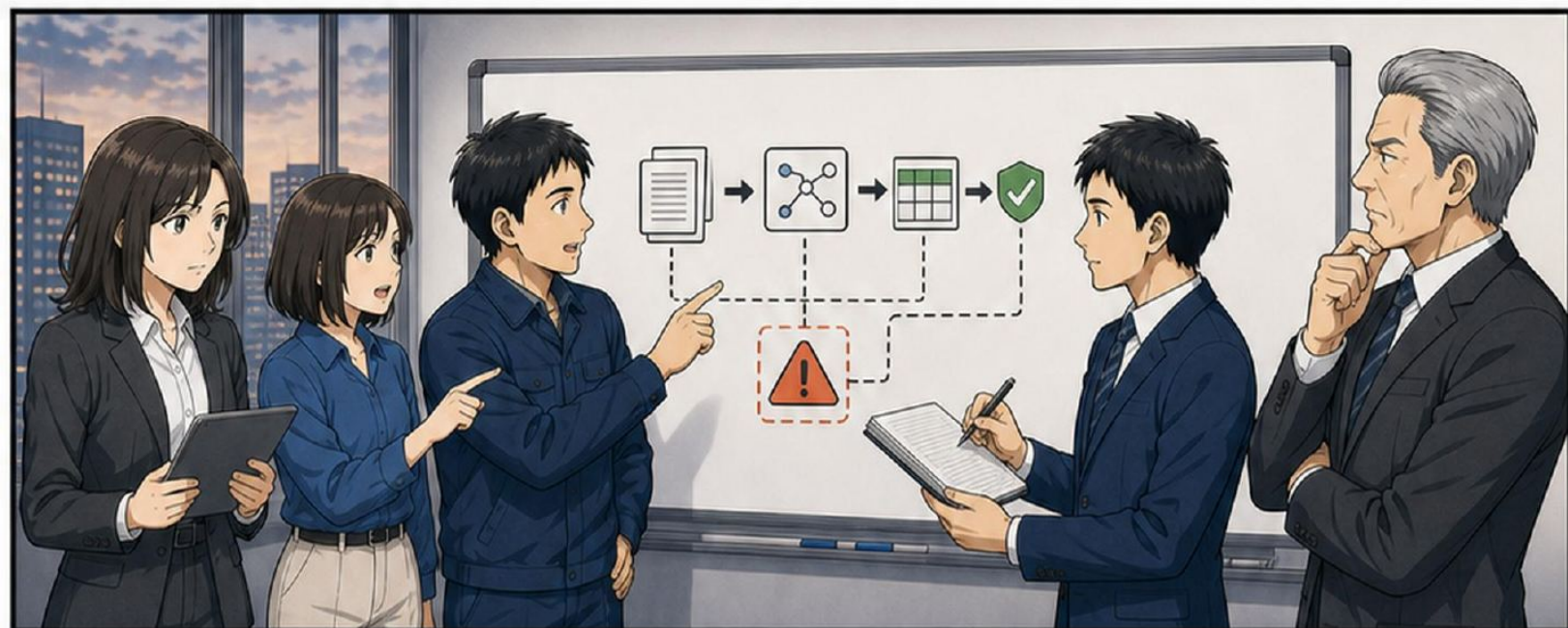
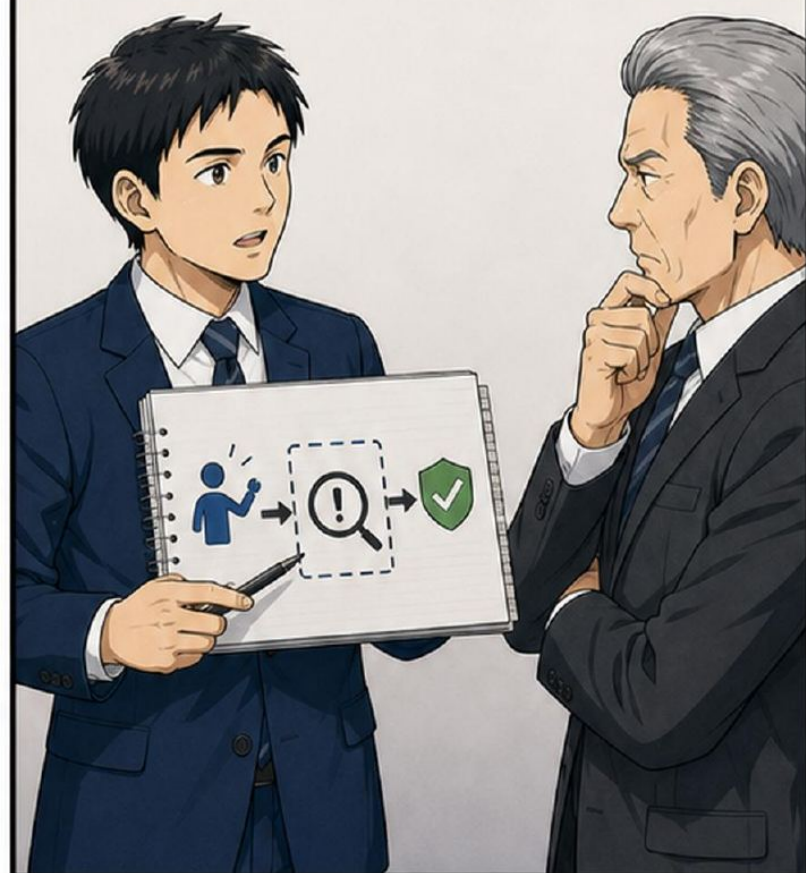


それなら次も、  
一緒に考えたいです



反論は抵抗ではなく、  
重要な情報です

命令より先に、  
助けるべきだったか



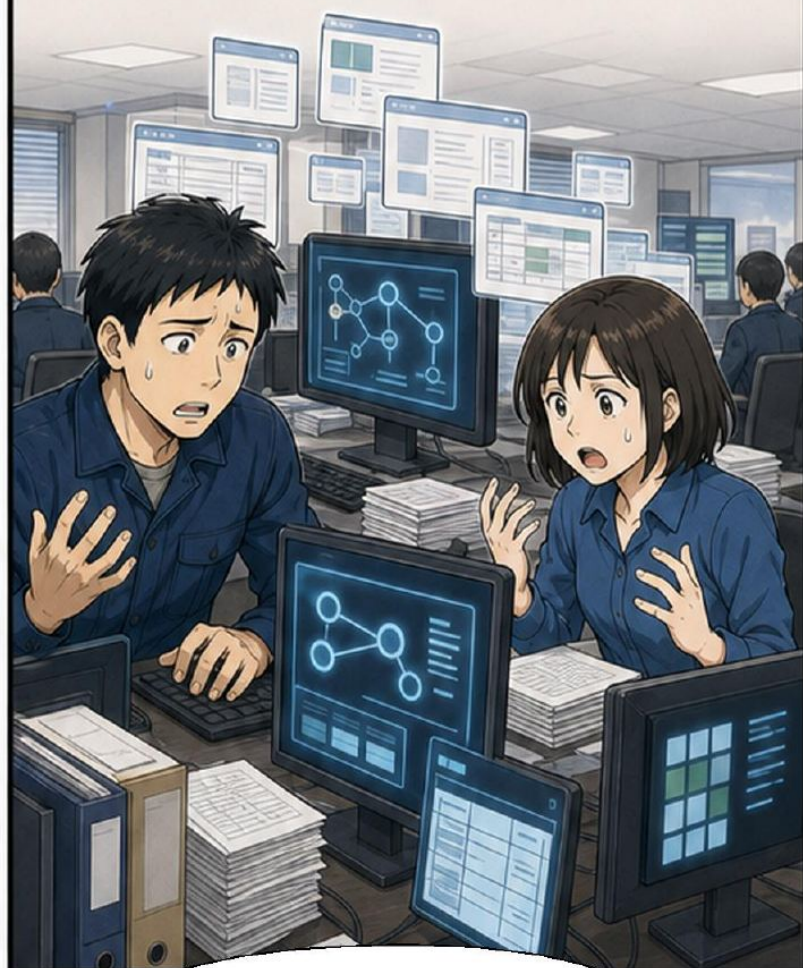
### 第7話の教訓

改善は、  
現場へのギブから始める。

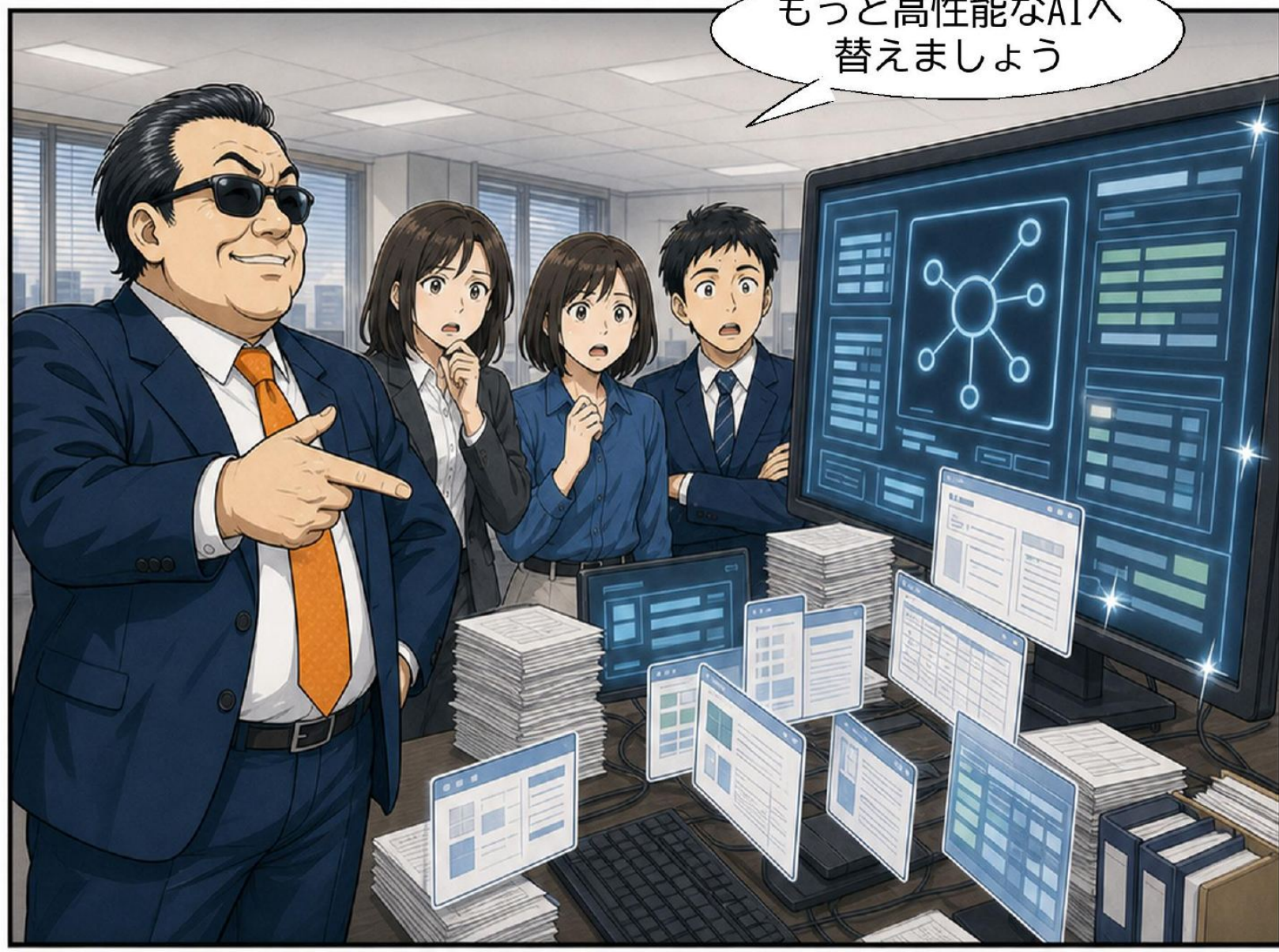
同じ情報を、  
三度入力……



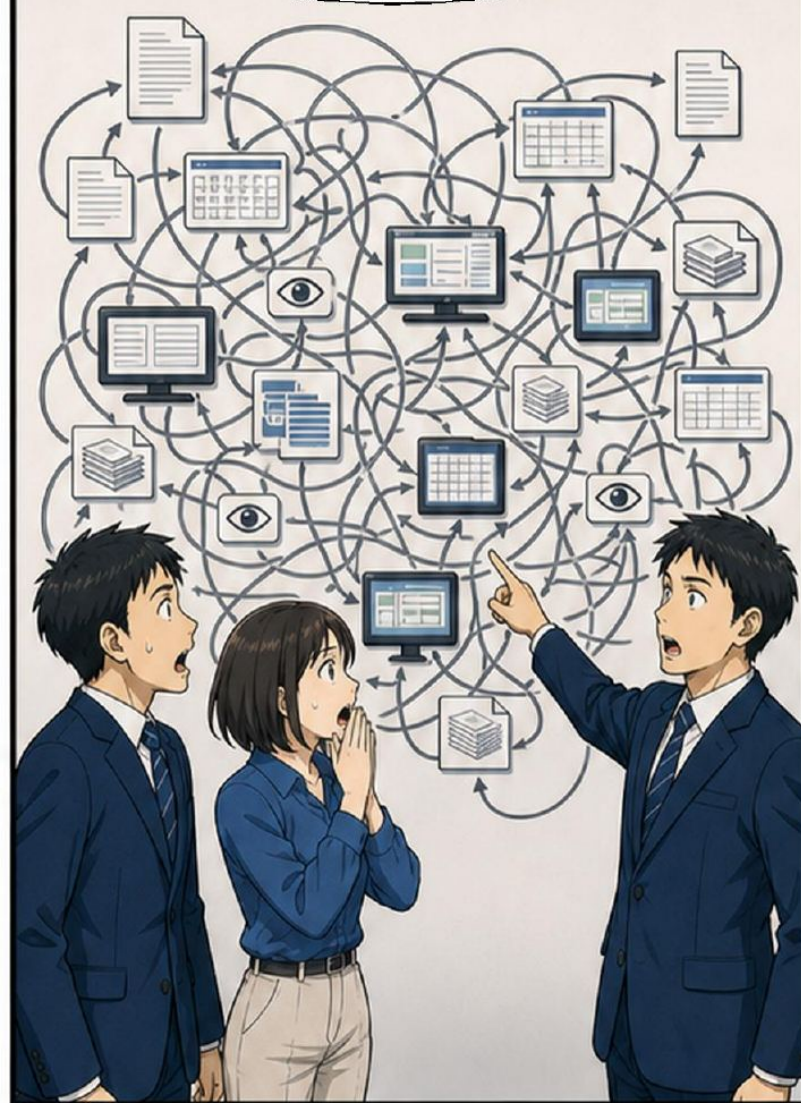
AIツールが  
次々に増えた



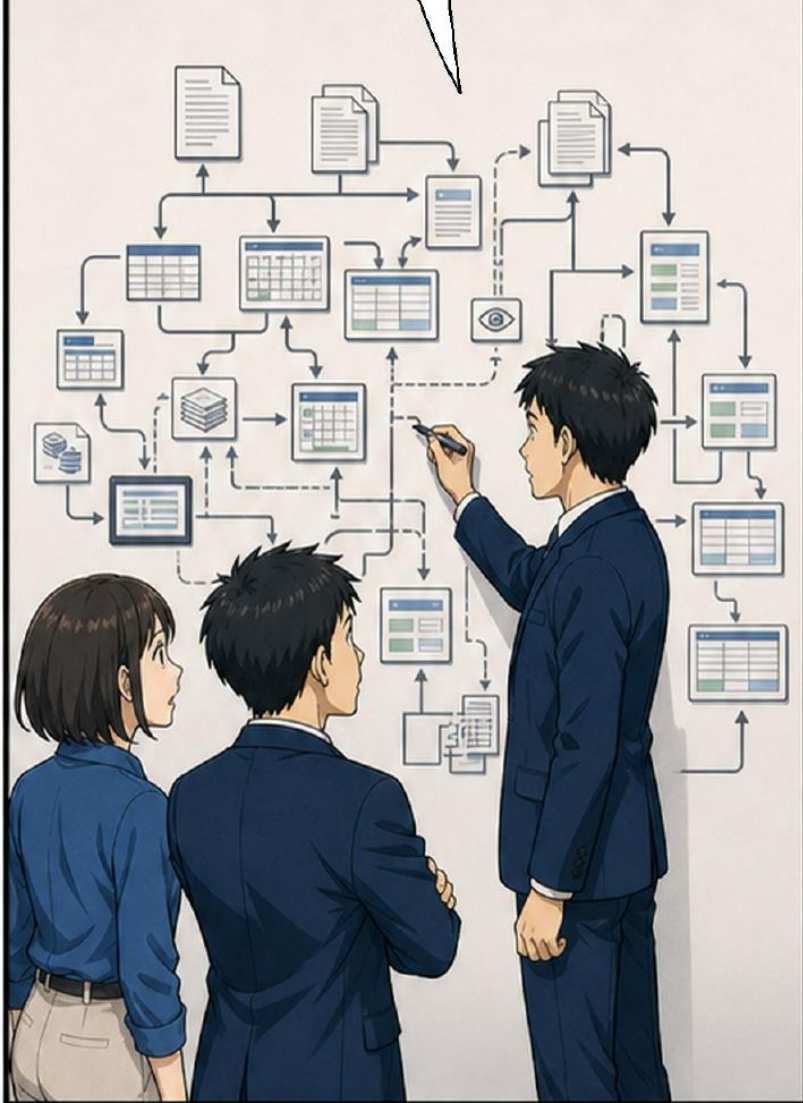
もっと高性能なAIへ  
替えましょう



転記、コピー、確認が  
絡まっています



現在の工程を  
全部、並べます



問題はAIではなく、  
工程ですね

